



昭和24年3月19日第3種郵便物認可昭和29年11月25日印刷昭和29年12月1日発行

建築と社會

日本建築協會

THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN VOL. 35 12 1954



どんな色でもお好み次第

セキスイタイル

<スチロール樹脂製壁タイル>

- 寸法が正確
- 軽量で、割れない
- 下地がかんたんですむ
- 美しい近代的な感覚

セキスイの建材：エスロンパイプ・セキスイタイル
セキスイライト

● ご照会をお待ち申し上げます

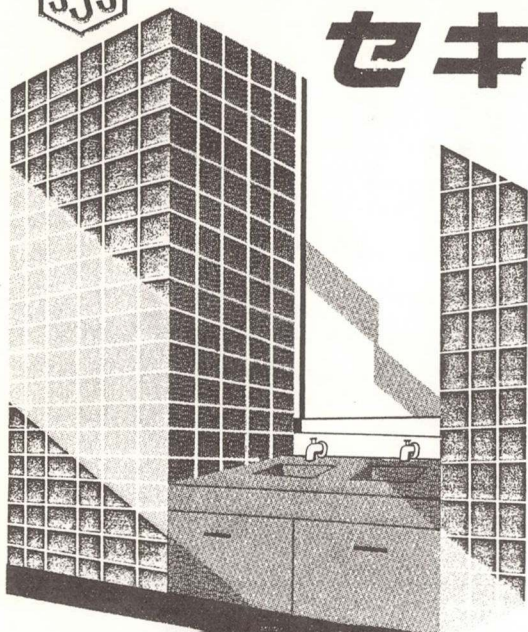
セキスイライト

(ポリエステル樹脂)
(ガラスせいの積層板)

- 軽くて強い
- 光を拡散、透過する

間仕切りに・日徐けに・天窓などに

本社 大阪市北区宗是町1 (大ビル)



積水化学

TRADE MARK



DOG

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書
御報呈上

メンブレン式 防水

の補強材料は30年の経厂を誇る

ドッグ 印で!!

ドッグ印	アスファルトルーフィング
//	アスファルトフェルト
//	キンマレアタイト (高級瀝青金麻布)
//	ヘツシヤンファブリック (瀝青黄麻布)
//	コットンファブリック (瀝青綿布)
//	白麻ファブリック (瀝青苧麻布)
//	ゲオンタイト (伸縮目地板)



日本工業規格表示許可工場

株式会社 工英社

大阪市西成区橋通9丁目24番地 電話 天下茶屋 4628番

目 次 作 品 作 風

建築と社会 29年12月号

諸家の寸言.....	1
岸和田市庁舎.....	2
倉敷レイヨン岡山アパート.....	8
興和ビルディング.....	10
松下商店.....	12
クライアントからみた建築	
巻 頭 言.....	竹腰 健造.....15
建設界に対する私の希望.....	井口竹次郎.....16
デフレ経済下の建設界.....	大島 堅造.....18
オフィスビルのなかより.....	中橋 武一.....20
デパートと私の建築観.....	北沢敏二郎.....21
ホテルのあり方.....	郡司 茂.....23
門外漢建築を語る.....	大原総一郎.....24
建 築 の 眼.....	14
紫煙室・鉄筋住宅余話.....	元吉勇太郎.....25
会 告.....	26
会 報.....	28

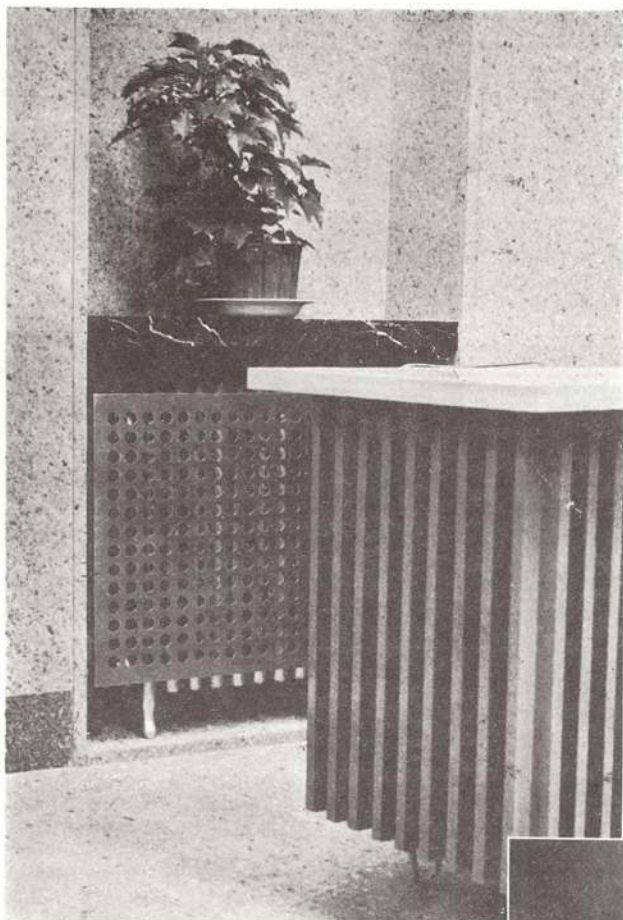
文化的な生活は先づ-----

**リノリューム
リノタイル**
の使用から.....



東洋リノリューム株式會社

本社工場 伊丹市伊丹五五八 電伊丹1・51
東京支店 中央区銀座西・三和ビル 電京橋1701
大阪事務所 東区瓦町二・三和ビル 電北浜375・376



冷暖房工事

株式会社 建材社

株式会社松下商店

玄関受付冷暖房

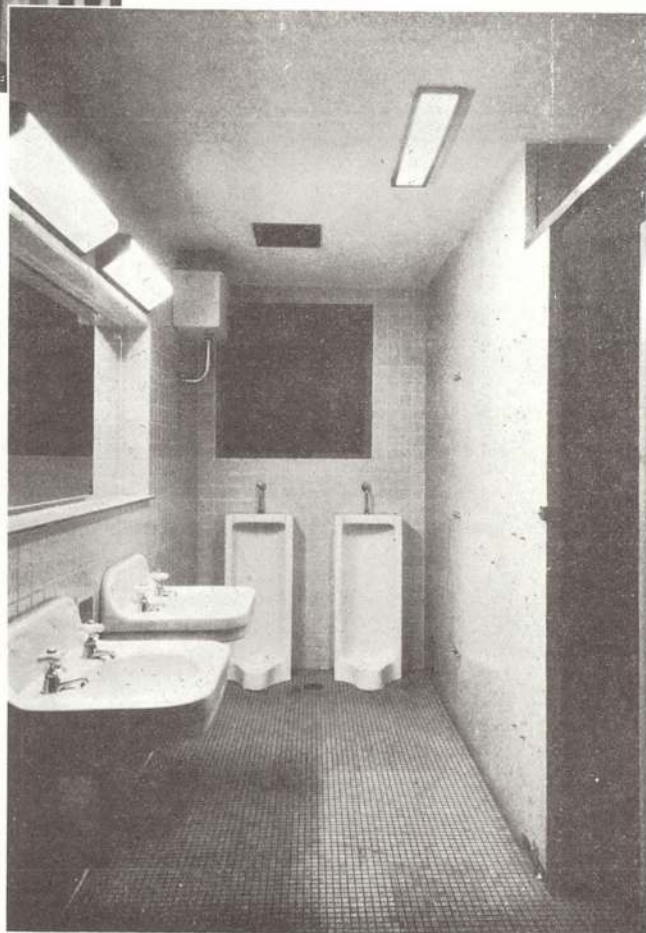
株式会社松下商店

2階トイレット

衛生工事

株式会社

西原衛生工業所大阪店





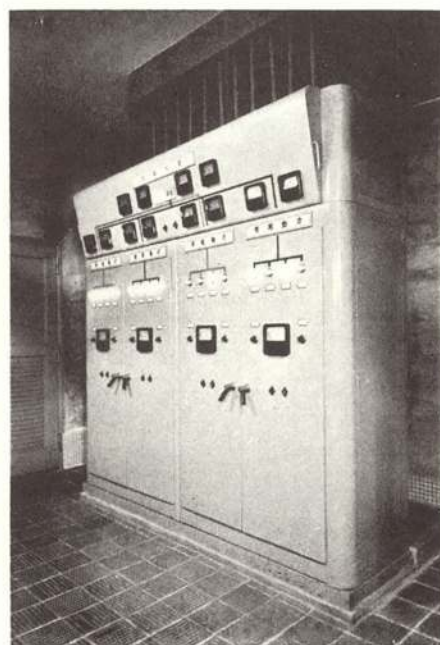
電 気 設 備 工 事

朝 陽 電 気 株 式 会 社

株式会社松下商店

上：社 長 室 照 明 装 置

下：同 社 地 下 室 配 電 盤



建材優良証明発行

かねて審査申出中の「エバーソフト」ならびに「塩化ビニールパイプ」の二件は建材審査委員会分科委員会において調査研究中のところ、去る11月26日総委員会にて審査の結果、下記のとおり優良証明を発行した。



第39号優良証明書 写

1. 品 名 BSエバーソフト

1. 製造社名 ブリチストンタイヤ株式会社

代理店 株式会社明正社

昭和29年4月20日提出された資料につき本会建材審査委員会において審査の結果別記特徴により優良と認める。本証明書の有効期間は1カ年間とする。

特 徴

1. 衝撃振動の吸収が良い。
2. 均質で軽量である。
3. 塵埃を発生しない。
4. きわめて柔軟でしかも型くずれをしない。

昭和29年11月26日

社団法人 日本建築協会 会長 竹腰 健造
同 建材審査委員会委員長 置塩 章

●本品はJIS等比較対象資料乏しく審査に困難を感じたが、上記特徴の外触感もよく、また取扱便利で衛生的にも良好等の点で優良品と認められた。ただし価格の点に難点があり、こんご業者に一段の努力が希望されている。



第40号優良証明書 写

1. 品 名 塩化ビニール・パイプ

1. 製造社名 久保田鉄工株式会社

昭和29年9月17日附提出された資料につき本会建材審査委員会において審査の結果別記特徴により優良と認める。本証明書の有効期間は1カ年間とする。

特 徴

1. 酸、アルカリ、油等におかされず腐蝕しない。
2. 電気絶縁性が優秀である。
3. 軽くて屈曲接着等加工が容易である。

註 熱可塑性樹脂であるから高慢で軟化し、また反面低温で脆化する傾向がある。したがって特別の用途あるいは特別地域においては注意を要する

昭和29年11月26日

社団法人 日本建築協会 会長 竹腰 健造
同 建材審査委員会委員長 置塩 章

●本品はさきに証明発行したエスロンパイプと原料製造行程がほとんど規を同じくし、大同小異であつた。また工場視察、一二の試験等をなした結果優良品と認めたがなお高温に対する研究と一層価格の低廉がたを要望されている。

この外、審査受理中のものは次のとおりであるが、会員ならびに関係方面各位の御宣伝と御推奨により一層本委員会を利用せられ、斯界の向上に御協力あらんことを切におねがいします。(建材審査委員会幹事)

ウオータイトB号防水剤

規格にしたがい防水試験中

吹付モルタル防水剤エマルシン

建設省ならびに建材研究所等に各種データ蒐集中

対アルカリ塗料T・X.

既設建物施工状況その他調査中

ミスズ吸音テックス

吸音データ資料を得るまで研究中

作品・作風

建築に関する

諸家の寸言

この寸言は諸家がそれぞれの談話の間に前後の関係をもつて洩らされたもの、筆者の直接おききした言葉ではあるが願わくば曲解を避け正解されんことを！

(浦 辺)

・ 建築は見るものでなくて使うものだ

渡 辺 節

・ 建築の価値が見た目の効果だけから決められがちである

岡 橋 作 太 郎

・ 作品と写真とは違う 建築の感触は写真では分らない

村 野 藤 吾

・ 建築は雰囲気を生む手段

吉 田 五 十 八

・ 建築学会賞が経済や設備や施工の問題まで含めた総合点で決定されているであろうか

渡 辺 圭 吾

・ 建築はむしろそれを使用する側から見なければならない

西 山 卯 三

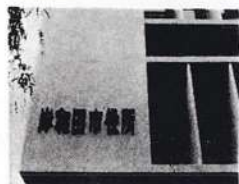
・ 日本には日本の家

岸 田 日 出 刀

・ 雑魚は丸煮 鯖は胴切り 鯛は三枚に卸すのが料理法だ

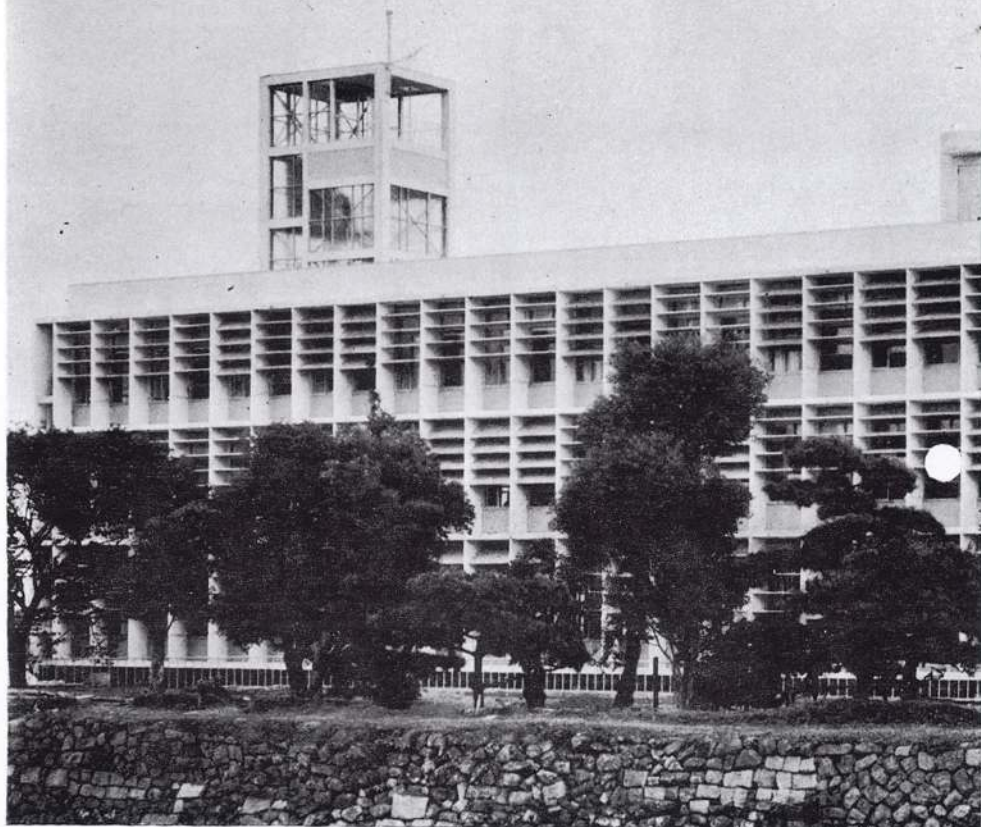
故 遠 藤 新

岸和田市庁舎



設計
日建設計工務
担当
上田恒太郎

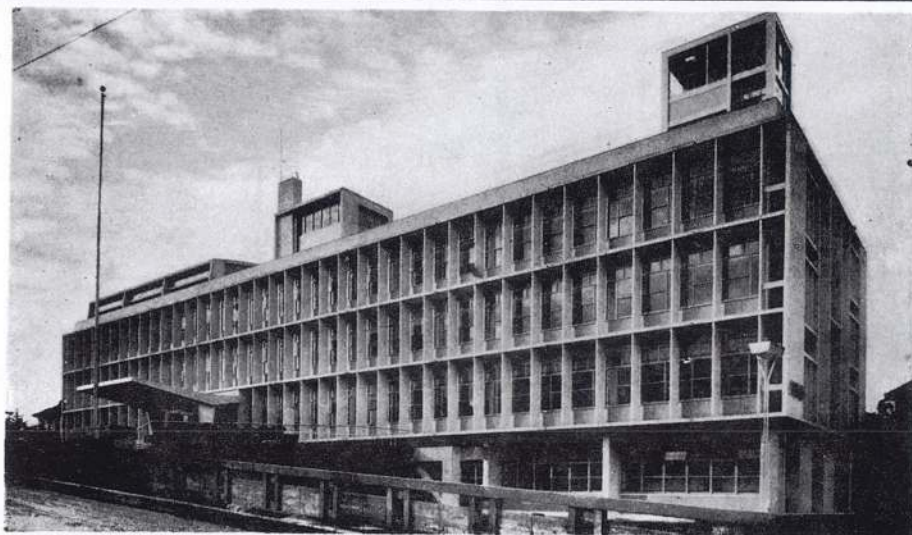
施工
清水建設KK
担当
志村善治

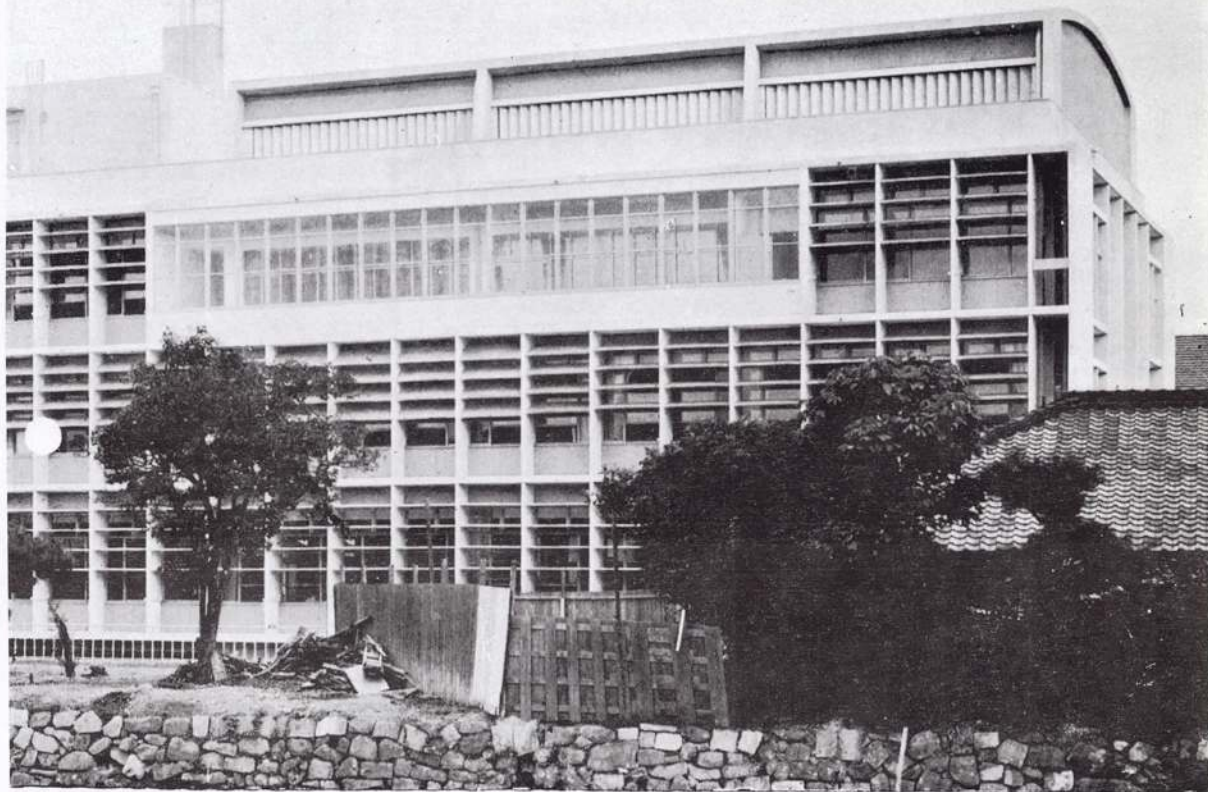


配置 ほば東西に長い単純な建物である。北面を正面として主出入口である玄関がある。玄関前はさほど広くないが駐車場ともなっている。道路を距てた部分には旧庁舎であつた建物等がある。この部分は将来は緑地とせられることが期待されている。西側建物の妻側は国道第26号線に面している。この部分に副出入口があり、塔があり、消防の望楼となり、時計塔ともなっている。建物の南側は濠を距てて城跡に臨む良い眺めに恵まれている。東側は城跡に通ずる道路に接し、通用口が建物のこの端の部分にある。

平面 環境には恵まれているが、敷地はあまり広くないので、議場等をも一切含めて単純な一棟としてある。地形を利用して玄関は第2階ともいふべき部分にある。桁行柱間は24尺である。これは机の配置上好都合のようである。

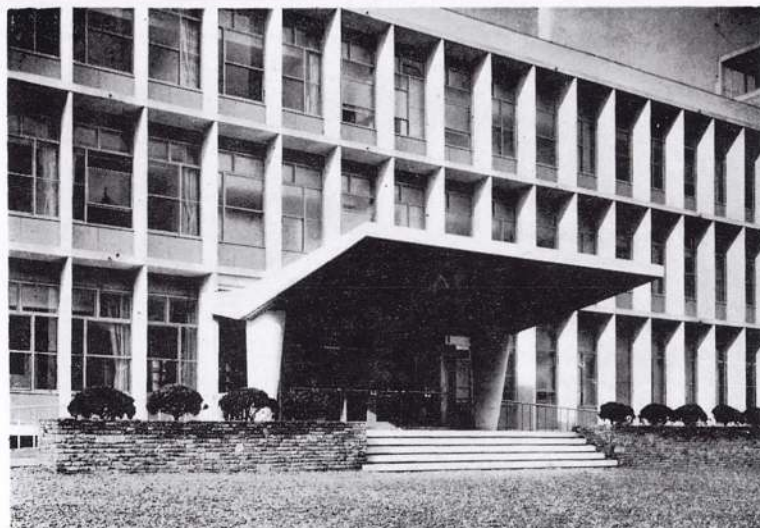
上：背面
下：正面





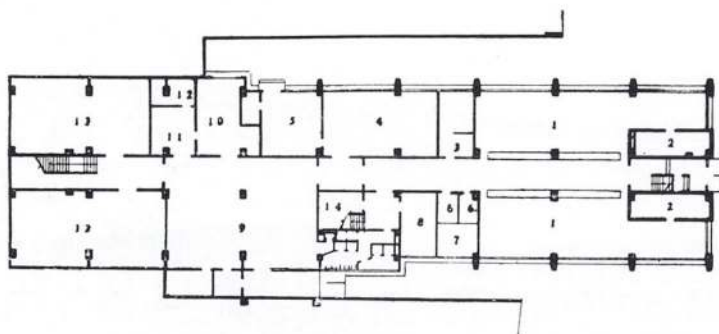
外 容 外壁は色モルタル塗、縦型ルーヴァーは厚75耗コンクリート打アーマーコート塗、何れも色は稍蒼味ある極淡クリーム色。最下階柱型は人造石塗研出し、玄関の柱は人造石塗小叩き仕上げ、色は何れも緑がかつた白色。外壁の凹所、即ちサッシュに接した上下壁部分は少しくすんだ青色、玄関庇裏面もそれより稍強い青色に埋込みの照明が点々と白い。塔屋議場部分等にも青色を配し、時計塔の一部その他に極少量の赤味の色が配してある。サッシュは淡灰色。南面の横型ルーヴァーは上面アルミ鋁下面石綿スレート板で可動式。

(上田恒太郎記)

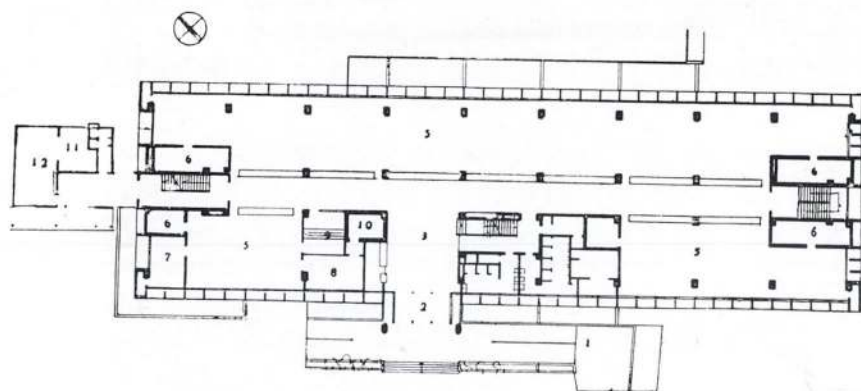


工 事 の 概 要

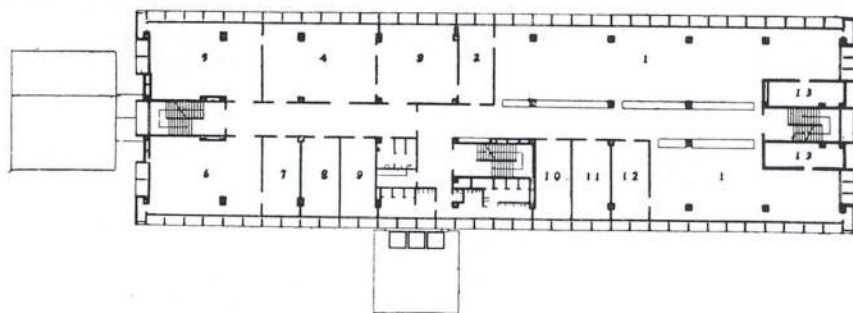
建 築 地	岸和田市岸城町
敷地面積	1590坪
建築面積	399坪47
延 面 積	1552坪97
構 造	鋼筋コンクリート造 1部鋼骨造及鋼骨鋼筋コンクリート造
階 数	地下1階 地上3階
高 さ	軒高(標準地盤上) 59.6尺 最高部の高さ(ク) 87.3尺
工 期	
起 工	昭和28年8月3日
竣 工	昭和29年8月15日



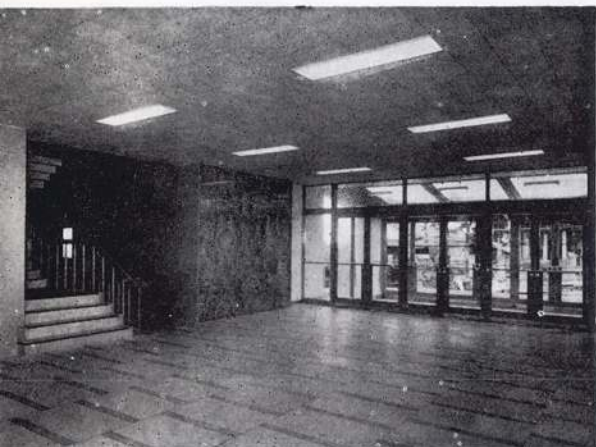
- 地 366坪
- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 階 | 室 | 庫 | 室 | 堂 | 房 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 庫 |
| 2 | 事 | 書 | 理 | 食 | 厨 | 代 | 勝 | 使 | ボ | 電 | 発 | 蓄 | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |



- 1 339.47坪
- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 階 | 道 | 除 | ル | 内 | 室 | 庫 | 室 | 行 | 室 | 室 | 室 | 室 |
| 2 | 歩 | 関 | 風 | ホ | 一 | | | | | | | | |
| 3 | 玄 | 関 | | | | | | | | | | | |
| 4 | 案 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 事 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 書 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 用 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 収 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 銀 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 金 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 宿 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 守 | | | | | | | | | | | | |



- 2 360坪
- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 階 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 室 | 庫 |
| 2 | 事 | 務 | 書 | 長 | 役 | 議 | 接 | 委 | 員 | 会 | 室 | 室 | 庫 |
| 3 | 秘 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 市 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 公 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 助 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 会 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 監 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 新 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 選 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 教 | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 書 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | |

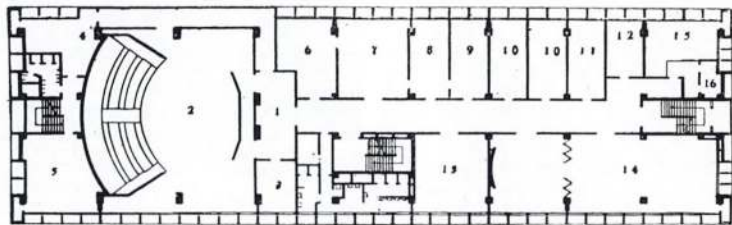


玄関ホール



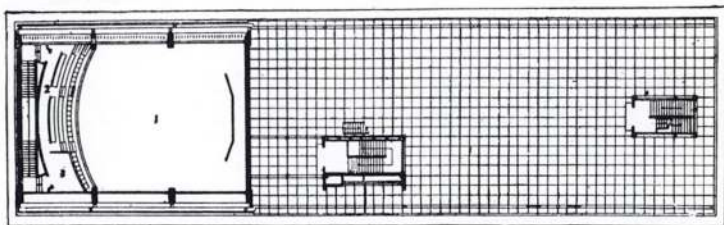
2階事務室及び廊下

- 3 階 365.50坪
- | | |
|----|---------|
| 1 | 議場前室 |
| 2 | 議員控室 |
| 3 | 二議員控室 |
| 4 | 議事長事務室 |
| 5 | 更衣室 |
| 6 | 議事長接見室 |
| 7 | 副議長會議室 |
| 8 | 小會議室 |
| 9 | 農林水產課別室 |
| 10 | 議員會 |
| 11 | 大氣交換 |
| 12 | 放電 |
| 13 | 室 |
| 14 | 室 |
| 15 | 室 |
| 16 | 室 |



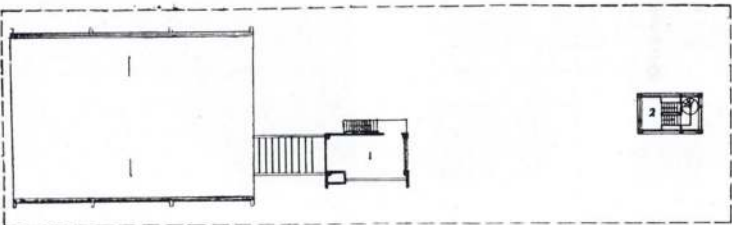
屋上1階 40坪

- | | |
|---|-------|
| 1 | 議場上部 |
| 2 | 傍聽席 |
| 3 | 新聞記者席 |

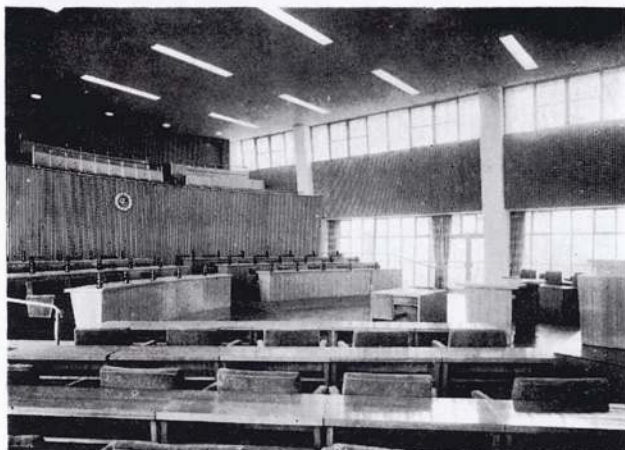


屋上2階 9坪

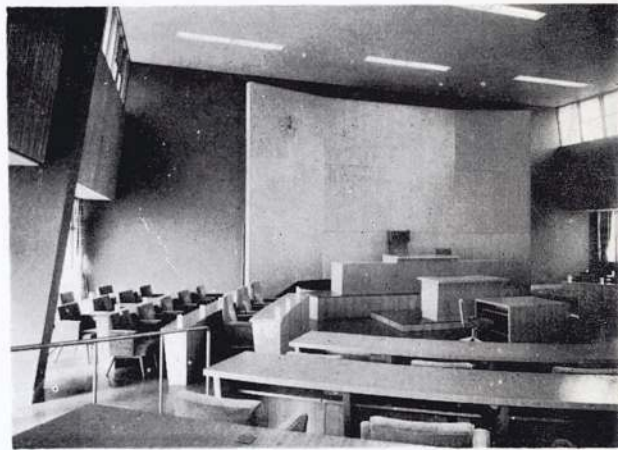
- | | |
|---|-----|
| 1 | 水槽室 |
| 2 | 階段室 |
| 3 | 望樓 |



塔屋 13坪



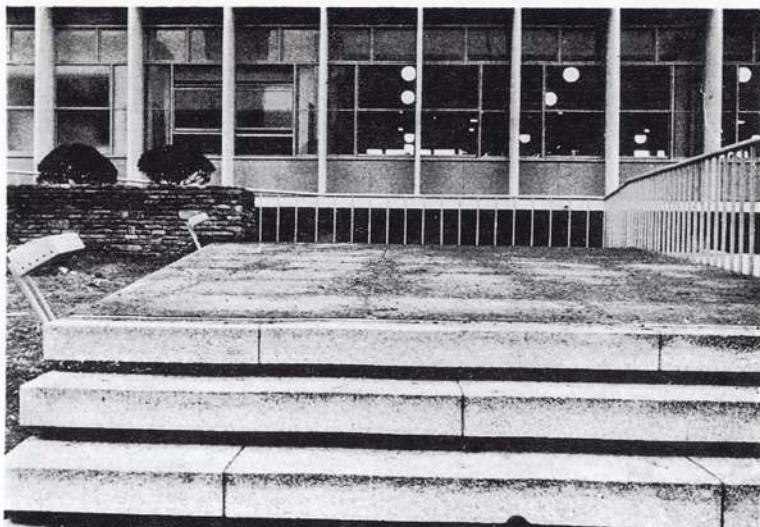
議場全景



議場正面



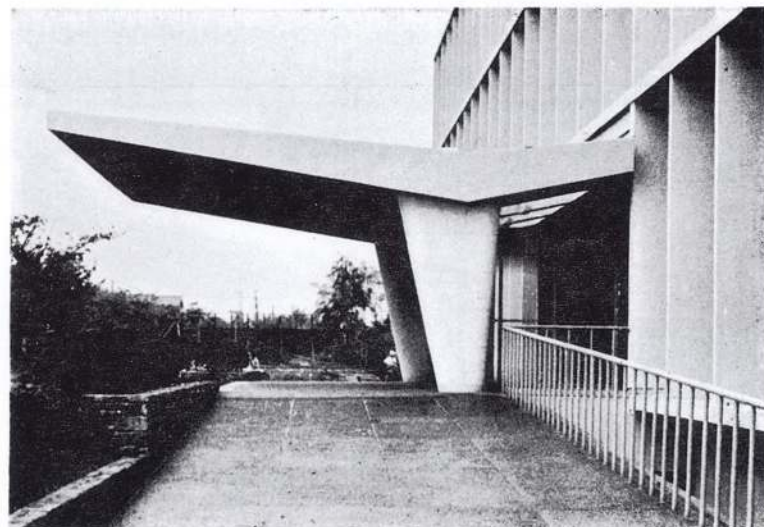
ユニークなアピアランス



アプローチ・左の突出物は歩道用照明



南西面・縦と横のルーバー



玄関庇・鉄板ペンキ塗（極淡クリーム色）

岸和田市庁舎外部

内部仕上

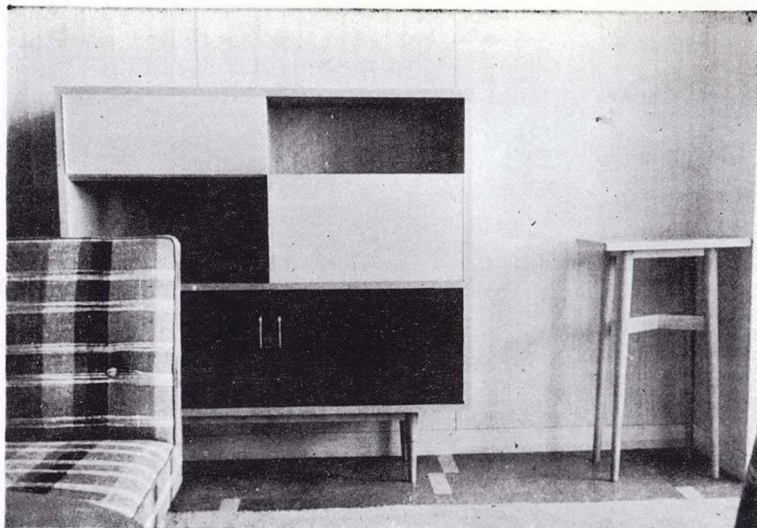
玄関ホール：床はテラゾー現場研（トラヴァチン色及び灰色）、巾木はテラゾーブロック（銀波）、壁は大理石（暁）、プラスターエンビ塗（暖灰）、天井はアコースティックタイル（乳白）。

公 室：床はアスファルトタイル（黒マーブル地に灰色飛模様）、巾木・壁はチーク練ベニア、天井はアコースティックタイル（乳白）、衝立は裂地（青緑色）。

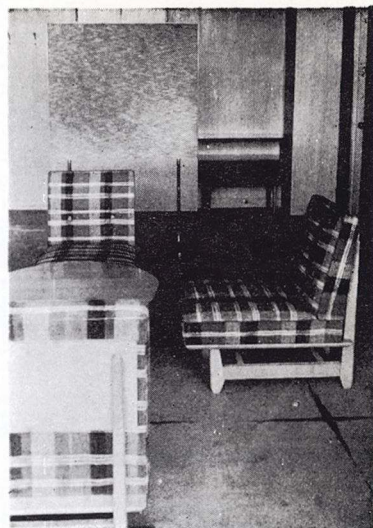
事 務 室：床はレキセリウム（茶色）、客溜の床は人造石塗研出し（トラヴァチン色）、巾木は木製ペンキ塗、壁はプラスターエンビ塗（暖灰）、天井はプラスター一部アコースティックテックス（乳白）、カウンター甲板はテラゾーブロック（黒）、同腰はイエローミーダクリヤラッカ仕上。

議 場：床はアスファルトタイル（青）、巾木はテラゾーブロック（銀波）、壁はプラスター布張ペンキ（灰赤色）及びコペンハーゲンリブ（米国産エローシダ、クルヤラッカー塗）、天井はアコースティックタイル（乳白）、議長席背面音響板桧練ベニア張、家具は塩地、なおクリアストーリー窓の外に可動のルーヴァーあり。

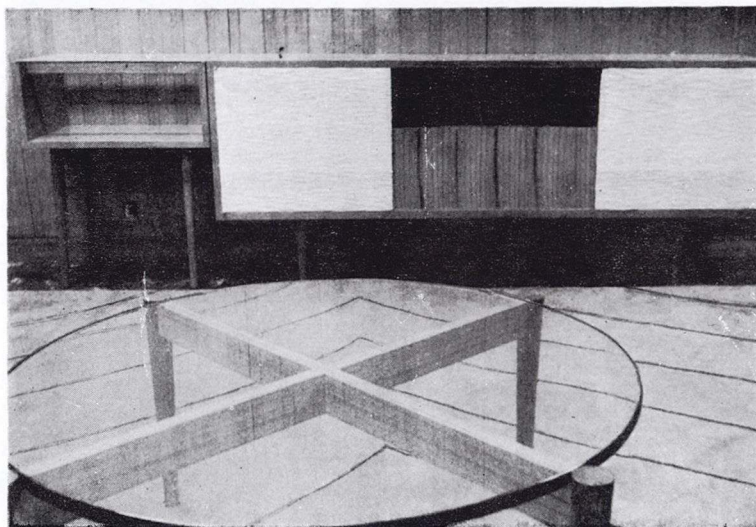
議長応接室：床はアスファルトタイル（青色地に淡青色飛模様）、巾木は桧練ベニア（明色）、壁は桧練ベニア、天井はアコースティックタイル（乳白）。



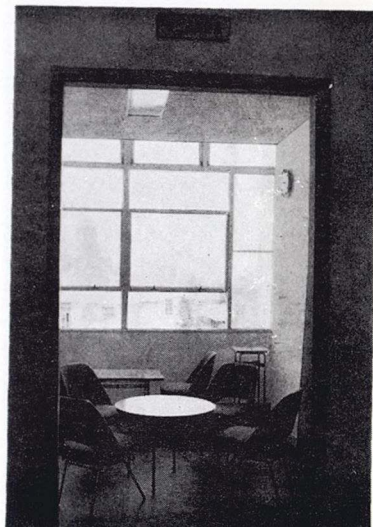
議長応接室の家具



議長応接室



公室の家具



第2議員控室



会議室



公室の椅子と机

岸和田市庁舎室内

議長応接室： 家具は桜で椅子張は
茶系色チェック地、敷物は罫絨氈
黄色

公室： 敷物は支那絨氈古代
朱及び暖灰色、家具はチーク製、
椅子張は淡黄色ワナ織縄と淡茶色
変り織

倉敷レイヨン 岡山アパート

産業融資による社宅

所在 岡山市福島

設計 倉敷レイヨンK.K.

浦辺 鎮太郎

武藤 倫男

施工 株式会社藤木工務店



工期 昭和29年3月—同年9月

面積 1 階 79.47 (坪)

2 階 79.47

3 階 79.70

屋 階 16.00

計 254.64坪

他に自転車置場 (12.12)

共同浴場 (10.56)

構造 鉄筋コンクリート壁式構造

工 費 建築工事費 17,550,000

屋外附帯工事費 2,190,000

(敷地造成, 屋外給排水, 汚物処理, 造園)

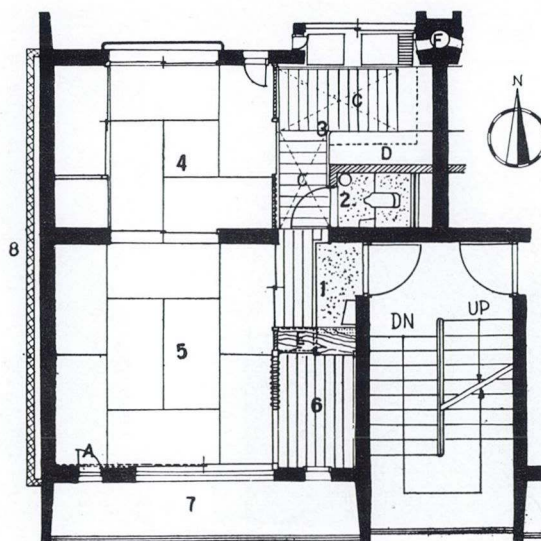
共同施設工事費 1,220,000

(浴場, 自転車置場)

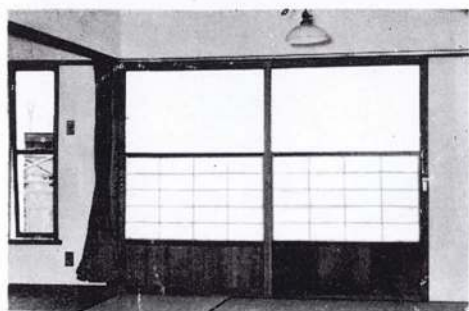
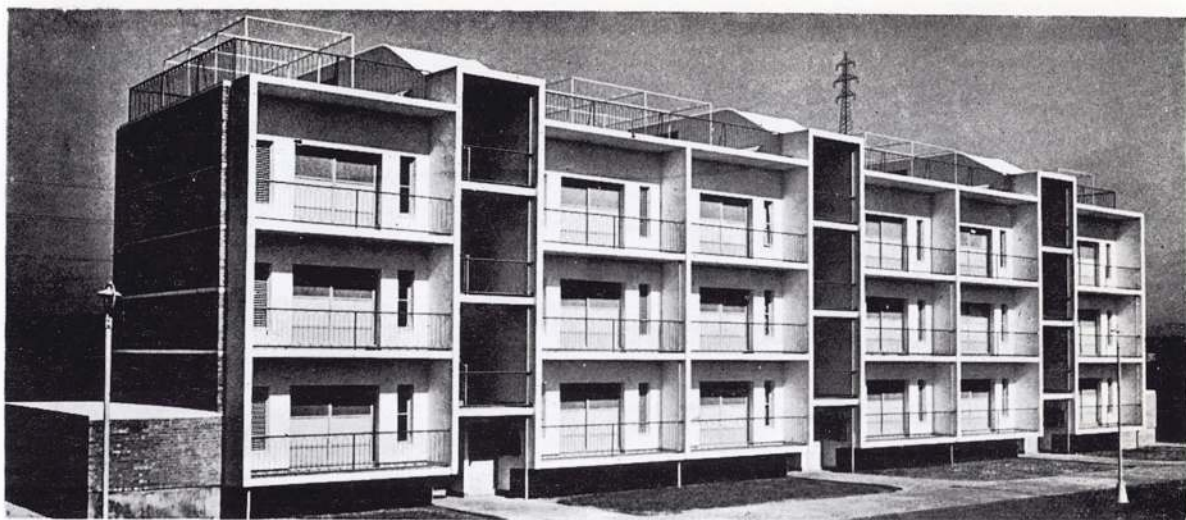
計 20,950,000

(一戸当1,163,000円)

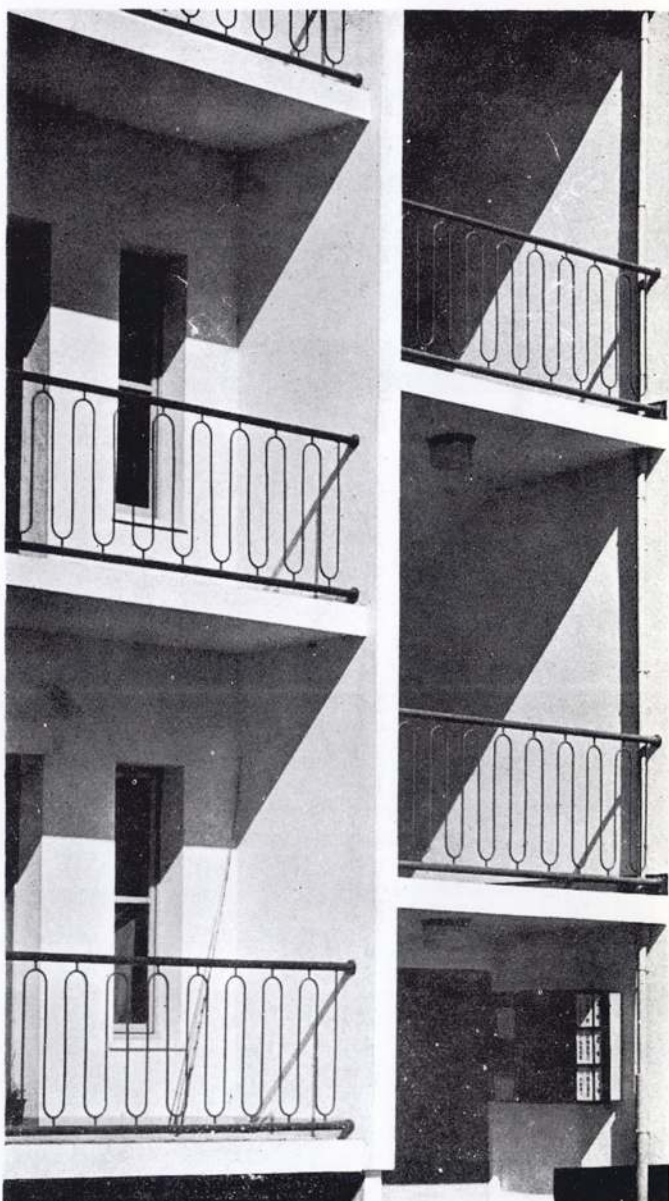
- 1 玄 関
- 2 便 所
- 3 台 所
- 4 居 間
- 5 寢 室
- 6 仕 事 部 屋
- 7 テ ラ ス
- 8 妻 壁
(煉瓦半枚積
空気層をとる)
- A. 換 気 ガ ラ リ
- B. 流 し
- C. 場 げ 蓋
- D. 配 膳 台
- E. 下 駄 箱
- F. ダストシユート

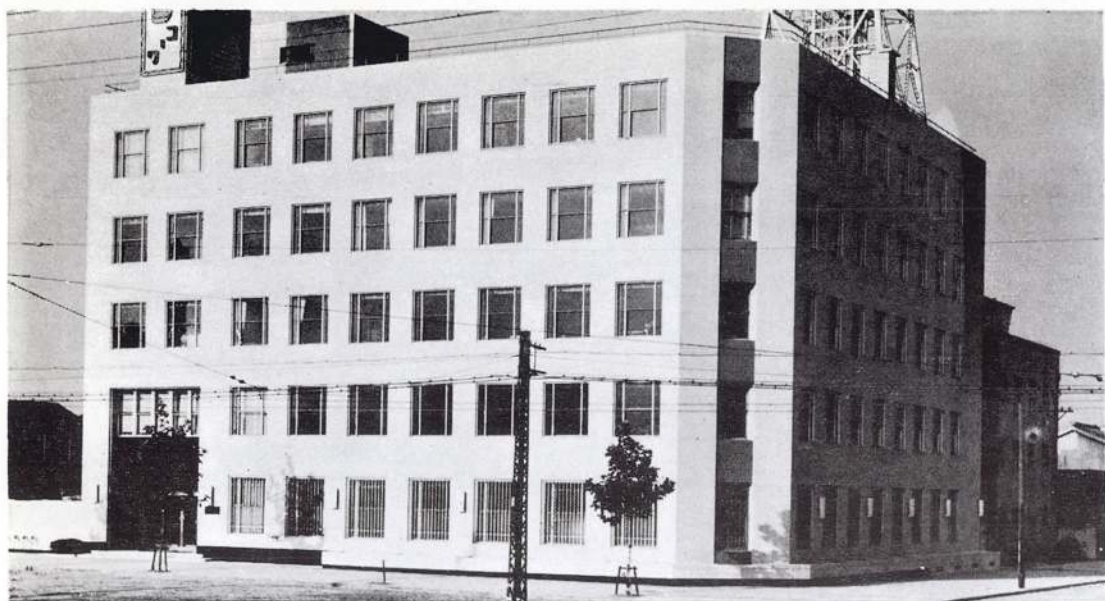


0 05 10 20 30 60 120 尺



これと同型のものを既に二棟建てた結果詳細な使用調査ができたのでそれに従って今回は多少の細部訂正をおこなった。特殊基礎を必要としない当初のものは1戸当 100 万円内で造園まで完了している。西宮団地には一棟これよりも大型のものがあるが、近代アパートとしてはその方が完備している。ただ若い工場在勤者の意見としてはこの程度の小さいものでも生活感情に即応しているので在来の木造一戸建よりは評判がよい。(浦 辺 記)





外 観

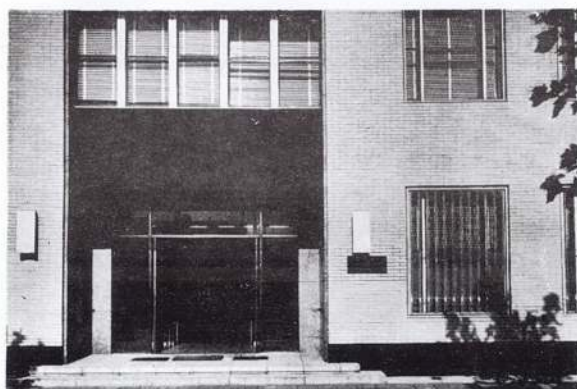
興和ビルディング

清水建設株式会社・設計施工

設計担当 中根 富貴三

現場担当 穴戸 利春

位 置 名古屋市中区朝日町一丁目
敷 地 面 積 732.0坪
建 築 面 積 建 坪 182.0625坪
延 坪 1,144.874坪
構 造 概 要 鉄骨、鉄筋コンクリート造、
地下一階、地上五階



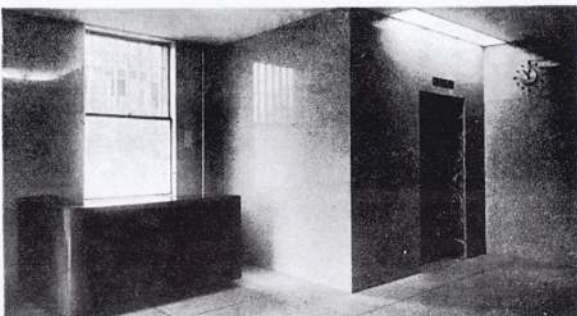
玄 関

設 計 に つ い て

いずれの建物でも、計画の話がでてから、本設計にはいるまでにはさまざまな経過をたどるものである。この「興和ビル」もその例にもれず、いくつかのケースを併せた経過を通つて本設計までの運びとなつた。たとえば、三階にして敷地いっぱいにて、将来上へ増築しようということであつたけれど、ちょうど丸栄本館増築中であつたのを得意先が見て施工の困難さを考え、五階建にして将来横へ増築するようにしてくれとの話から、今のよう形のものとなつた（増築後は今の玄関が中央になる）。私はあるデザインの大先輩から、設計上の注意として「平凡の非凡」ということばをもらつていたので、終始その線で貫くよう努力し、そしてあらゆる方面への誠意を設計の上に表わそうとしたつもりである。妙なハツタリや、自慰的、独善的な制作態度を、きびしくいじめつつ、素直にともつていくことに努めた。しかしなにしる未熟な制作力のため、関係方面へ色々迷惑を掛け、大層あいさすまなく思つていて同時に成功した点、不成功であつた点ともに貴重な経験を得たことをありがたひと思つてゐる。不備な点の多かつたにもかかわらず、各方面からの諍辭を頂いて汗顔の至りである。設計に対する得意先の非常な理解のあつた点は特筆しなければならない。

本造の天井及壁下地、漆喰またはプラスター塗り仕上の部分は、充分研究、実験の上、木固下地の替りに、ラスボードを張りキーンズセメントを使用した。施工後今日に至るも未だ亀裂其他の欠陥が起きていない。なお今後を見なければ断言できないが、一応成功したものと考へてゐる。

(中根)



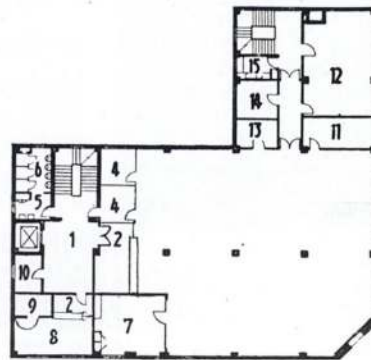
ホ ー ル



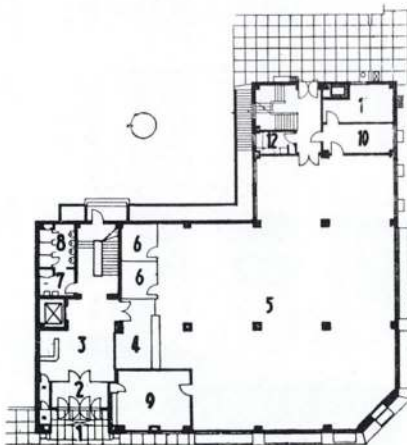
会 議 室



- 地階
- 1 階 室
 - 2 書 庫
 - 3 金 庫
 - 4 倉 庫
 - 5 厨 房
 - 6 食 堂
 - 7 電 池
 - 8 機 械
 - 9 油 タ
 - 10 浴 グ
 - 11 小 使
 - 12 宿 便
 - 13 女 直
 - 14 厨 更
 - 15 便 婦
 - 16 エ リ
 - 17



- 3階
- 1 表 階
 - 2 客 務
 - 3 事 務
 - 4 応 接
 - 5 洗 面
 - 6 便 所
 - 7 副 社
 - 8 株 長
 - 9 金 式
 - 10 書 庫
 - 11 書 料
 - 12 試 驗
 - 13 材 室
 - 14 更 衣
 - 15 湯 室

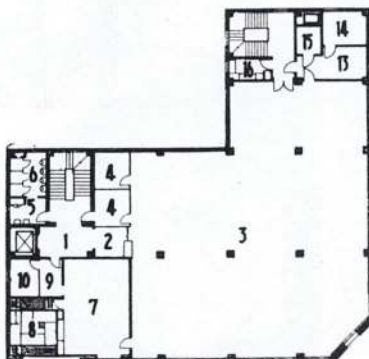


- 1階
- 1 玄 関
 - 2 ホ ル
 - 3 受 付
 - 4 客 溜
 - 5 事 務
 - 6 応 接
 - 7 洗 面
 - 8 便 所
 - 9 社 長
 - 10 更 衣
 - 11 書 庫
 - 12 湯 室



- 4階
- 1 表 階
 - 2 商品 見 本
 - 3 会 議
 - 4 小 会
 - 5 便 所
 - 6 特 別
 - 7 診 査
 - 8 待 療
 - 9 合 線
 - 10 藥 局
 - 11 X 線
 - 12 暗 室
 - 13 電 話
 - 14 電 報
 - 15
 - 16

303 9 5 2/R



- 2階
- 1 表 階
 - 2 客 務
 - 3 事 務
 - 4 応 接
 - 5 洗 面
 - 6 便 所
 - 7 日 本
 - 8 前 接
 - 9 踏 入
 - 10 踏 入
 - 11 踏 入
 - 12 踏 入
 - 13 更 衣
 - 14 書 庫
 - 15
 - 16 湯 室

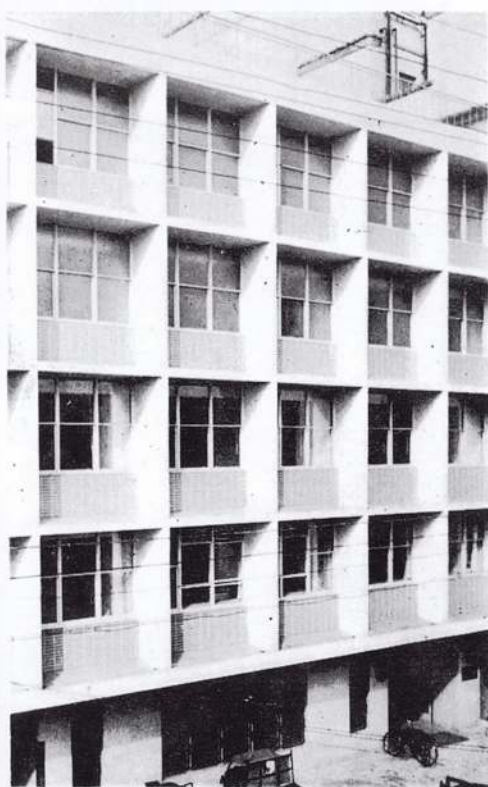
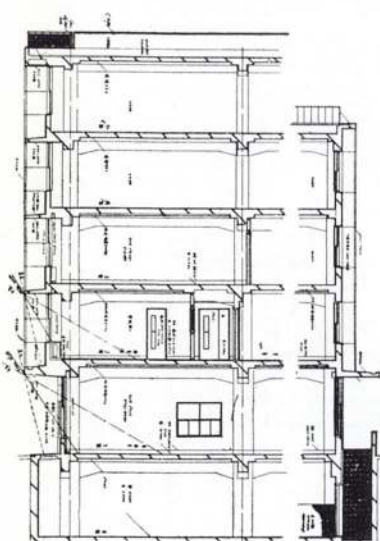
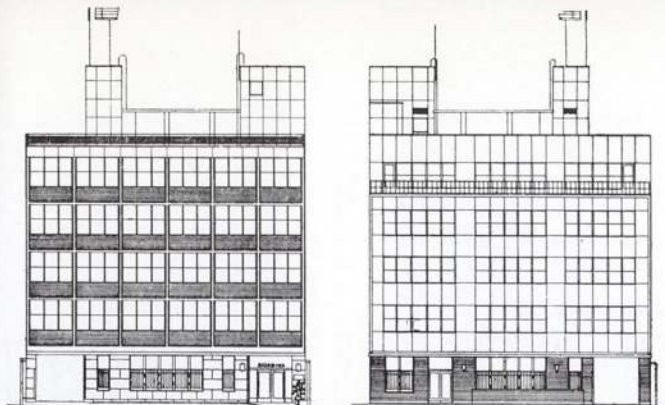


- 5階
- 1 表 階
 - 2 寮 室
 - 3 客 室
 - 4 小 入
 - 5 踏 入
 - 6 踏 入
 - 7 踏 入
 - 8 踏 入
 - 9 踏 入
 - 10 踏 入
 - 11 踏 入
 - 12 踏 入
 - 13 踏 入

株 式 会 社

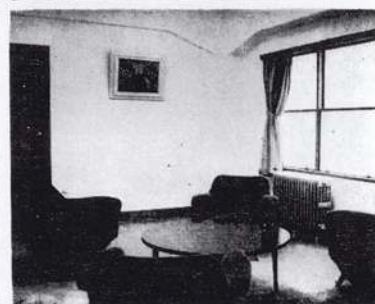
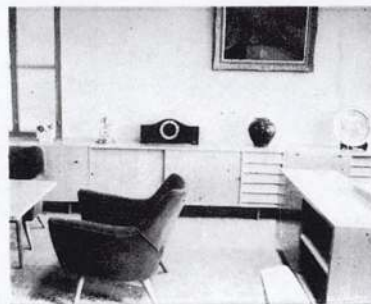
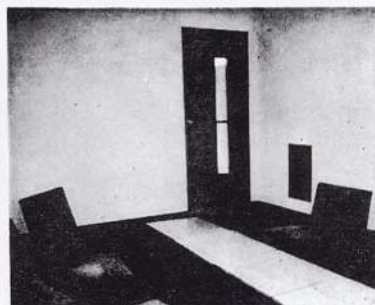
松 下 商 店

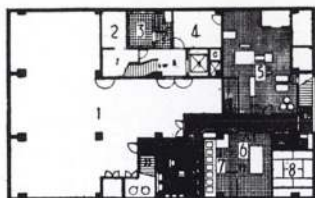
設計施工 竹中工務店
設計担当 米田正義
現場担当 宮崎正雄



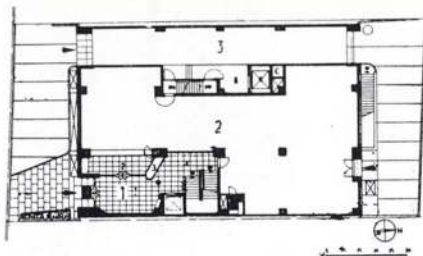
建 物 の 概 要

名 称	株式会社 松下商店
建 築 地	大阪市東区高麗橋2丁目16番地
敷地面積	225.0坪
建築面積	建 坪 148.33坪 延 坪 910.75坪
構 造	鋼筋コンクリート造
階 数	地下 1 階，地上 5 階
高 さ	塔屋付 高麗橋通りパラベツト迄 59.8尺
深 さ	基礎下端迄 17.0尺
工 程	昭和28年11月5日 地 鎮 祭 〳 29年4月6日 コンクリート打完了 〳 29年4月14日 定 礎 式 〳 29年6月30日 竣 工

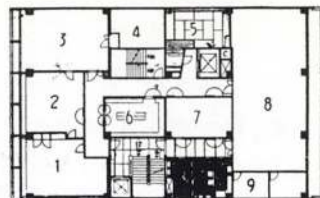




地階 1. 倉庫 2. 油倉庫 3. 冷蔵庫
4. 予備室 5. ボイラー室 6. 自家発電室
7. 変電室 8. 宿直室



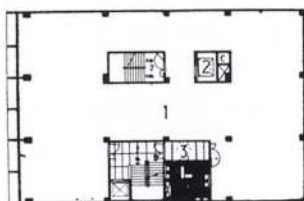
1階 1. 玄関ホール 2. 事務室 3. 自動車通路



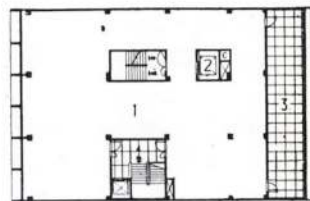
2階 1. 社長室 2. 役員室 3. 庶務
事務室 4. 交換室 5. 和室 6. 書庫
7. ロブカー室 8. 事務室 9. 小応接室



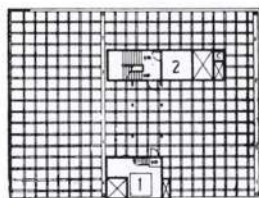
3階 1. 大会議室 2. 応接室
3. 物置 4. 小会議室 5. 食堂



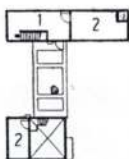
4階 1. 倉庫 2. 荷物エレベーター
3. 湯沸・便所の廊下



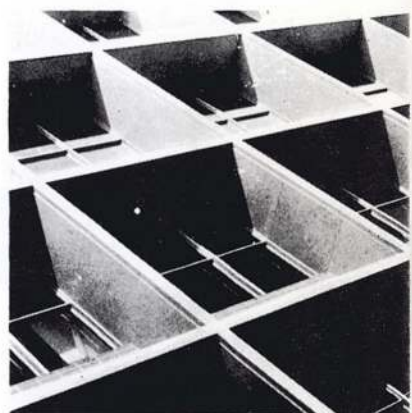
5階 1. 倉庫 2. 荷物エレベーター
3. バルコン



屋1階 1. 水槽 2. 神具入



屋2階 1. 予備室 2. 機械室

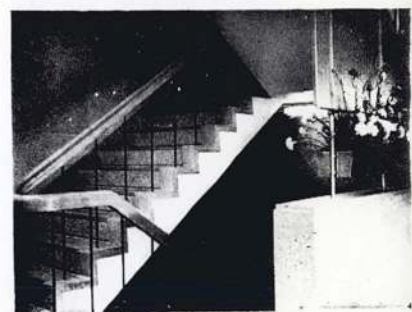


松下商店設計について

米田 正義

松下商店の新社屋は地下1階地上5階で1-3階は事務用スペース、地4、5階は倉庫となつてゐる。食料品問屋としての盛期に幅奏する貨物自動車の為に前背両面に約7米宛の空地をとり、更に南北両面の道路を連絡できる様建物の西側に巾3米の自動車通路を設け荷捌用プラットフォームより各階倉庫に荷物エレベーターに依り直ちに連絡する。南面1階は水磨本御影石貼、上げ下げ窓、玄関廻りはゴールドブロンズ製建具を入れた。格子状庇は1階で約1.5m 2階以上1m突出し4月1日-9月1日の間太陽直射光線を遮り夏期冷房なき事務室及び倉庫を涼しくし且雨天にも窓の開放が出来る。庇外面はセラストン及びテラゾーブロック張、窓下は青色テラカッタ種2丁掛タイル張、庇裏はカラコンモザイクを張り変化を考えて見た。北面は1階2丁掛タイル張、2階以上は万成石の人造石洗出し目地切とし、外壁は両面共シリコンを吹付け雨、及び塵に依る汚染を極力防いでいる。表出入口は自動車通路の反対側にとり床壁共テラゾーブロック張とし、ガラススクリーンを通して1階事務所が見渡せる様考慮してある。敷地は東西共ビルに挟まれてゐる為各階共南北両面に事務室、役員室、食堂、集会所等を取り出来るだけ外光を活用し、暗所は書庫、ロブカー室、便所、湯沸物置等に利用してある。事務室等の天井は吸音テックス張、床リノリウム敷とし騒音の減小を考慮した。倉庫は壁プラスター入モルタル仕上げ、床は砕石入コンクリートの堅硬なものとし、天井はメタルフォーム板を使用、目違を払う為薄層の漆喰叩き上げとしてある。又倉庫は窓を事務所並に大きくとつてあるので将来随時事務室に転用出来る。

照明は主として蛍光灯を使用する。非常用燈、エレベーター及び揚水ポンプ電源用としてディーゼル発電機を備え又自動及び手動式火災報知及びコールサイン装置をなし非常の場合に備えてゐる。暖房は直接蒸気暖房のみ。外に食品貯蔵用冷蔵庫及び食品油倉庫を地下に設けてある。



ガラスの罪過

東京駅の八重洲口に新築された鉄道会館……6階迄の未完成ながら、堂々たる雄姿を眺めることができるのは御同慶の至りだが、大丸の使っている部分の窓口から荷物の空箱の山らしいものや、ベニヤ板の書棚の裏がまる見えになるのは、東京の玄関口として何ともなさない次第だ。面積の大きすぎる窓が、デパートに不向きなことはすでに25年も前に白木屋本店で経験ずみの筈。これは一体、設計の際にデパートの機能の検討が足りなかつたのか、事務所建築への転用性が考えてあるのか、それともデパート側の使い方がまづいのか？ともあれ、ガラスは外からの光線を透すとともに、なかにあるものを外の人に見させる役をすることも忘れないで貰いたい。これはまた、外壁が張出した建物の窓のなかに、白い柱が見える場合にも気になることだ。思いきつたことがしたいなら、むしろアメリカの実例にならつて、窓のないデパートを設計してみてもはどうだろう。空気調和の経費を考えると、数%の利益になるとの報告を読んだことを覚えている。

こんなのもガラスの罪過といつてよいのではなからうか。(Y)

けんちくのみめ：担当（五十音順）：
小川正・西山卯三

健全な建築を

建築は竣工引渡をしたそのときより社会生活に関連したそれぞれの目的にしたがつて活動をはじめることはいまさらいうまでもない。設計者の意図はこのときより実現するのである。なぜなれば設計は紙上の表現でもなく、カメラのエフェクトでもない。自然条件、経済条件等に耐えて生きぬく躯体と複雑な組織の構成技術である。優秀なる設計とはその意図により実現させた建築がその意図の通りに生活活動を、耐力を、正しく持続しているか如何によるのである。

本年度も建築学会作品賞応募はまもなくはじまることであるが、その主査委員会においてもその候補作品についてはその建築の健康な生活状態を確認した上で決定されるほどの誠意と熱意がほしいものである。

建築の生命は人類のそれより永く、その設計意図をあやまつた建築の不健康な状態はみるに堪えないものだからである。(T)

建 築 の 眼

快い構造感を！

建築は同時に構造体である。いまここに1つの高層ビルを想い浮べてみよう。9階建、柱間 $6\text{m} \times 6\text{m}$ 、階高 3.4m としよう。これに働く水平力——ほどよい安定感をもたせるに必要な力としてかりに風圧をとり、風速 60m/sec とし壁面に 300kg/m^2 の圧力を考えると、各階床位置で単位架構に加わる水平力は

$$0.3 \times 6 \times 3.4 \approx 6\text{ton}$$

にすぎない。これに対して建物の延坪当り重量を 1t/m^2 とふんで1階柱の直圧を計算してみると、

$$1 \times 6^2 \times 9 \approx 320\text{ton}$$

にも及ぶ。建築は驚くほどの重力の作用の場である。建築は数千 ton の重量を支持する高さ 30m にもそりたつ構造物である。どんな機械でもこんな巨大な力は作用しない。均衡のとれた構造があらわれているか、あるいは構造がかくされても、快い構造感が表現されていないか、いかに美しく粧つても、不安、怪異の感は免れぬだろう。——あるエンヂニヤより。(G)

船越義房・堀口甚吉・横尾義貫：けんちくのみめ

アパートのニワ

東京のあるアパートにいつた時、建物の間をとる舗装した道と建物との間の空地に、何も手をほどこさず閑東ロームそのままの所があるかと思うと、コスモスが一ぱいさきみだれている所もあつた。境界が住戸の境につながっているのも、多分一階に住む人が自分の住戸の前を自分のニワと心得て手入れしたのだろう。そのなかの一軒に、ナワを張りめぐらし、一面芝生をうえているのがあつた。全戸こうすれば随分よい環境になるだろうが、一軒だけだ。天気の良い日にデツキチエアでも出してたのしむためか、ゴルフの憩古場(?)にするのだと噂している近所の人がいるという。アパートに住むということだけでは、社会的な生活様式は生れてこない。一軒一軒の別でなく、環境をよくしたいという願いを、皆のものにしていく努力が必要だ。これは一体だれの仕事なのだろうか？(U)

クライアントからみた建築特集

巻 頭 言

建築は他の芸術と異りすべて用途を伴っている。いかに、外観が麗しくともまたいかに堅牢にできていても使用上不便を感じたり、用途に適合しないものであればその建築は失敗である。一面からいつて使用目的にもつとも良く適合したものがもつとも良い建築というも過言ではあるまい。

建築家は建物の造築が完了すればその任務は終る。しかし建築主は永久にも建物の維持保全に当らねばならぬこの意味において建物は健全にして維持保全の容易なものでなければならない。

この意味で建築家としては広く一般の建築主たちの意見も聞くことが必要であろう。建築をする人にとつては建築家と接衝していく間に素人は素人なりの意見もあつて自己の希望を実現していく企図はもちながら思うようにならずに失望感を抱く場合があることと思う。とくに多年にわたり建物を使用し維持に当っている人々には建築家自身が自覚せぬ種々の点において教えられることが多いと思う。これらの人への卒直な意見を聞くことは少なからず建築の設計に携わる者にも施工に従事する者にも啓発せられ、また裨益するところがある。

私自身壮年のころは建築を設計し、完了後はこれが監理保全の任務をも負う立場にあつたが、建築の設計の理想と保全の難易とは必ずしも一致しない場合が屢々あり両者が相容れない場合を発見することがあつた。維持保全を十分に経験した者でなければ完全な設計はできないのではないかとさえ疑うこともあつた。保全ということは新築とは違つてきわめて困難な事であり、ある意味においては新築よりも技術的にむづかしいとさえ思われ

竹 腰 健 造

る。とくに設計または施工上の不注意からくる欠陥についてはその建物の存在する限り永遠の悩みとなる場合がある。

こうした立場にあると設計においても、また使用材料の撰択に立つても非常に消極的となりがちであつて、新築当時の一時的な評判よりも後年欠陥に悩まされることの少ないことに重点を置くようになる。とくに新しい建築材料の使用については消極的となり、永い経験を経て欠陥なきことを確認せねば採用を躊躇するようになるものだ。したがつて漸新にして進歩的な計画というよりも間違いない堅実なものを考えるという消極的な弊に陥り易いが、しかし一面において建築主の立場もよく理解し得たと思つている。

本誌12月号はこうした建築主の立場から建築士に対する意見なり希望なりを卒直に述べて貰うことを各方面の人々に依頼して編集したものである。また一般社会人が建築界に対していかなる希望をもち、いかなることを望んでいるかを知ること、は、建築界内部の論議を聞くのと異つた意義があり、建築の進歩発達にも大きな貢献をすることと思う。

建築の良否の判断は極めてむづかしい。設計に新機軸を開いてそれが建築界に貢献しても、建築主にとつてはきわめて迷惑な場合もあり得る。また良否は数字で表明できないものである。したがつて建築士は独善になりやすい。広く社会が建築界に望む声を傾聴し、客観的な反省をもつことは極めて意義のあることと考えるのである。

(筆者 日本建築協会々長)

建設界に対する私の希望

井口竹次郎

(前白 大阪御堂筋には戦後ビルブーム時代があった。その中でガスビルは22年の歳月を経てなおもつとも新鮮であり気品が高い。安井武雄先生の設計大林組施工になる名作である。竹腰会長の御紹介を戴いて私はその四階に井口社長の御話を承りたく参上した。井口社長は本月特集に御談話戴いた方の中で唯一の機械技術者出身の経営者であるからさぞ痛烈な御批判が出るだろうと期待申上げておつたところ果して迫力ある御話と共に建築家に対し理解ある激励の御言葉を戴きここに適切な編集の可能となつたことを感謝致します。なおガスのことについてはとくに私がおたずねしたために御洩し願えたものである。

29.11.9 浦辺)

1. 建設業者に望むこと(計画性と整理整頓)

私はよく現場を廻る、そして土建業者にはどうも計画性がないと思う。工事には機械器具が必要であるが、あらかじめその選択や所要の数量、予備品まで考え点検をして完全なものとして現場に持込まなければならない。さもなければ現場は手持ちとなつて遊んでおることになる。現場でも、あるいはその本社でも「計画性」を持つて仕事をやり機械器具の保全を厳重にして「サイの河原」的な仕事はやらぬことである。

つぎに現場の整理だがここはまた掘り返すところだから、今埋めるとまた掘らねばならぬといつてそれを残すから半年も一年も穴をあけたままで置くことになる。それは事故の起るもとである。一度整地してまた掘るべきだ。材料の持込みにしてもあらかじめその置場所とか倉庫を考えた上、必要な時機に必要な量を搬入しなければならない。建築にかかれば重量物を入れるとき、砂利や砂の山の上を歩かせたりして地均しをすれば損だというような顔をしているが、私は「二日に一度は片付けよ、いらぬ看板や足場は現場から抛り出せ」といつている。

今このビルの小修理にパイプ足場を使っているが、それは外国では普通のことである。釣足場も完全なものがある。メタルフォーム(金属性仮枠)は40回使用しないと計算が出ないという話だが、それは計算の立て方によるだろう。このようなプレス仕事では手間は30%とかからない。運搬も簡単だし古材は $\frac{1}{2}$ か $\frac{1}{4}$ で売れる。パイプ足場でも同様である。ほかに美点があるならば各種の方面から検討して見れば計算の立て方の問題となろう。私は市中の現場を見るのが好きで、時には一時間も立つて見ていることもあるが、ほとんど近よりがたい不安感がある。外部に対しては安全感を持たさなければいけない。少しは手間がかかっても絶えず片付けをやり、つぎ

の工程に移す。床面をはつきりとして置けば安全が期せられる。我々の化学工場では材料の持ち込みも順を追って早すぎるものも持込みを禁止している。

昔の土建のボスのやり方でなく、科学的な計画性と整理整頓が建設業者に望ましい。

私は戦前もドイツにおり戦後も行つて見たが、彼等は工事のやり方がうまい。オリンピックの会場の現場を見たが家の建て方の早くて要領のよいのに驚ろいた。材料を運び込んだと思うとすぐそれを組立てている。官邸前の広場のタイル貼のやり方を見ているとコンクリート打して面均しをするのだが、若い技術がトランシットで水勾配を睨みそれから四方から中心に向つてタイルを貼り上げてきた。中心でタイルがびたりと合う。ベルリンとニューヨークで地下鉄工事も見したが、ベルトコンベヤーで掘つた土を運びエレベーターでパンカーに入れる。それを一定のトラックが一定の時間にやつて来て運び去る。捨場も決つているのだろうが実に正確である。日本でも然るべくやれる筈だ。

建築工事には機械技術を入れてやつた方がよい。その方が恐らく有利であろう。

2. 建築家に対する希望

弁護士や医者に相談すれば必ず金を取る、また向うが請求してくる。汽車のなかでちよつと弁護士の意見を聞いた後から請求書が来たという話もある。ところが建築家に対していろんな事を頼んだりスケッチをして貰つたりした時はそれが没になれば金を出さないし請求もこない。日本の一般の人は建築家を理解しないのだ。建築家は費用もかかり日当もかかっている筈である。非道い人になれば建築家の Idea だけとつて勝手な設計をやるのがある。建築家はどうしても使わなければならないのだから、ことの成否にかかわらず何%か決めて謝礼しなければならない。建築家は暇なときには赤字も出るものだから。私は建築家が公正な設計を行い、業者と馴れあい、をせずあくまでクライアントの立場を代表するような風に建築家の間でその運動を起すべきだと思う。日本のクライアントは建築家の立場を知らない人がいるが建築家の方も公正な設計をやり自らの地位の向上を計らなければならない。それは真面目にやるかどうかで非常に違ってくる。クライアントとしても建築家に任じた以上は全部任すことだ、その方が安心でもあり有利である。建築家が真剣であり^{クライアント}施工の立場に立てば契約の時5%は違ひ少しし^{クライアント}頑張れば10%は違ひ結果になるであろう。建築家自身は10%の報酬は取らないしこれでつまり「回収」が

できる。それは結果においてそうである。(註ここで井口社長は「一寸きかない話になつたがね」と微笑)。建築家に望むことはいくら苦しくとも人格と技術をもつてやることで政治的な動きをしないことである。世間で二、三の信用を失えば全部の信用を失うこととなる。悪いことは早く伝わるものである。

3. 工場、ガス、ガス器具について

私のところは化学工場だが、私は機械工場に行つて見て経営上の参考になることがある。ここも建築現場と同じように材料の整備のできておらないものや機械の配置が悪くて足の踏場のない様なものは経営上も悪いが殊に輸送設備の良い工場は製品が良くて安い。私の所の工場にもよく出掛ける。(註、記者が「こゝい社長でしようね」と申上げたら「何私は決して抜打ちはやらないよ、チャンと断つて置いてから行く」との事であつた。)以下は都市生活と建築に関係の深いガスとガス器具に対し、とくお願いして洩らして戴いた談話である。

大阪ガスの工場は大阪に3、京都に1、神戸に1で尼崎、浪花、明石、岸和田の各ガス会社は終戦前に合併した。合併会社は全部閉鎖して京阪神を一つのものとし大阪を拡張京都、神戸は改造した。閉鎖した処はガスタンクはそのままとし大阪よりガスを送っている。宝塚沿線もそうである。規模を大きく集中した方が人件費の点で有利である。ガス需要量は冬は夏の約2倍となるので京都は夏向きとし冬は大阪より送る。大阪が Cushon tank となつている。尚姫路は富士鉄の余剰ガスをも買つてこれを精製して送っている。富士鉄は当初自分でやつておつた処料金回収などの問題で結局我々の方に肩がわりしそのかわり離れた社宅全部に配給することとなつた。

京阪神ではガスは立方米16円以内であるが、仮に人口10万位の都市に新設するとなれば、料金は京阪神の約倍額になるであろう。さらに小都市では36~37円位になるであろう。それにしてもガスは燃料として安いものであり大会社の送るガスは「完全なるガス」である。配管は100ポンドの高圧溶接管を昭和25年から使用している。これにはロスはない、仮に新しいガス会社を起そうとするならば、石炭荷役の良い立地を選びまた総掛費を最小限にするような経営にしなければやづていけないし、配給範囲も密集した7~8km内であればよいが、田舎道を長くひつぱるのは建設費がかさんでいけない。

つぎにガス器具の事をおたずねであるが、現在のものは、アメリカ進駐軍の影響もありモダンとなつた。建築も変つてモダンになつたし、それにマッチさせるためにアメリカあるいは一部イギリスのものを入れて参考とし、こちらでPress-Workでやつた。仕上のラッカーもよくなつた。これは一流品を指定している。製造は前は家内工業的であつたが今は大阪の直営工場であつてい

る。アピランスを重点に置かなければガス器具は売れないし、そのためにデザイナーがおるが、時々東京、名古屋の業者の品物をもこちらで展示してそれと比較してやらせている。なおストックホルムのものなどはよいと思う。

……片岡安さん(建築協会初代会長)は個人的によくしつてゐる。このビルの設計者の安井さんは片岡建築事務所におられたがその後独立された。ガスビルの頃も片岡さんの事務所はあつたが、心よく安井さんに設計を任された。建築家の安井さんは立派で真面目な人である。

(井口社長のお話はこれを以て終るが同社営繕部長今林彦太郎氏が日頃から直々にお聞きしている事項に関して執筆された原稿を戴いているので摘要したい)

業者に対し

- (1)契約の形式を選択することは施主側の自由であるが、業者側が縄張りを盾として、あるいは過去の実績をもつて、実質的に施主側の自由を牽制したりまたこれを理由に業者間の談合が成立したりすることなく工事契約が自由、明朗に達せられること。
- (2)工事獲得運動は程々として一に施工成績という注文者の欲するところを問題とされること。
- (3)正確なる予算のもとに事務的簡素化を計つておこなうのであれば、「実費精算式」は合理的であり、かつ業者の利益をも保証し得るものであること。
- (4)工事目的の要点を把握すること。
- (5)適当なる現場係員を配属させること、すなわち現場係員はトカク工事の経済的成績を挙げ、かつ段取りよろしきを重視する傾向があるが同時に技術を解し良心的施工のやれる人物であること。
- (6)仮設工事と現場の整頓を更に重視すること。

設計監理担当者に対し

- (7)設計者は施主側の希望、業態、運営等の詳細をその説明と現状視察とにより体得して煩を嫌わず施主側と交渉すること。
 - (8)工事費を最も有効に生ずる設計をなすこと。すなわち工費の比較的低廉なる木造住宅の如きは実際にはもつとも多くの設計監理上の労力を要する等ちよつとコッケイではあるが、材料工費共極力有効に活用していやしくも浪費に類する事態があつてならず、ここに設計者の人格が重視されるゆえんであること。
 - (9)設計事務所より派遣され現場にあつて工事の監督、指導に当る技術者は現場における事務所の代表であるのみならず、場合によつては施主側の代表でもあるがいたずらに監督を厳にして指導を怠り工事を停滞せしむる等はその任務の効果を半減する。いやしくも業者の不正、無能はこれを匡正、指導するとともに、工事の円滑なる進行に協力することを本義とすべきである。業者あるいは材料納入者の誘惑に陥り威信を損ずるがごときは論外の沙汰であること。
- (筆者 大阪ガスKK取締役社長)

デフレ経済下の建設界 — 特に住宅建設について —

大 島 堅 造

(前白 国際金融の権威であらせられる大島先生に建設界の経済問題につき御談話戴きましたことは本会のために光栄と存じます。先生は社会人としての大半を住友銀行に過され専務取締役として同行を去られました後も広く国際金融の問題に「日本の大島」として世界的に友人を持たれておられる方であります。ことにアメリカのお話は正確なる数字の上に立つて展開された御見解でありまして余人をもつてしては到底およびえない独壇場かと存じます。なお先生は登山家として有名な方です。経済と建築と登山はそれぞれ別のようであつてそこに共通の分母があるごとくに感ぜられます。29.11.8 於 大阪倶楽部 浦辺)

1. 景気観測のキーポイント

景気観測には三つのキーポイントがある。これを米国を例に取ればつぎの通りである。

- ① 大衆の消費の動き
- ② 産業設備の改善拡張の資金の動き
- ③ 建設資金の動き (住宅、学校、病院等)

①は衣食や家賃に関連した消費であつて毎年2800億弗であるが、景気、不景気にはあまり関係がない、ただ自動車、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯器等の Semi-durable の消費財でも金廻りがよければ新型に買い換えるし、これ等は①の中でもつとも大きい金額であるから一部のものに購買力が出てくる。現に米国の本年の景気は55年型自動車の発売状況如何によつても分るといわれるくらい自動車関係の資金は大である(約年間400億弗)。

②の産業資本投下はそれが盛んであれば連鎖反応によつて各方面にサービス量が増すので、先の見透しをつけるために主要会社の建設計画を全部とつてそれが多いか否かで将来の確信如何を見るのである(この金額は年間平均380億弗)。

③の建設関係であるが、これは年間270~280億弗と見られている。現在では①は自然増のものであるからよいが、②は去年より4~5%減となつている。すなわち将来の見透しの不明確という通念による結果である。しかるにすべてマイナスの傾向の中で③の方は米国の景気を与えているのである。この建設関係といつても住宅が全体の二分の一であるが、住宅は単にそれだけ建てばよいというものではなく、そのなかに置く諸物資の消費を伴う。アイクの政策では建設産業は放任して置いてもよい

が、これを培養すれば景気維持ができるということで普通は年間100万戸の住宅建設だが120万戸建てている。それでもなお使い遅れとなつている建設資金が800~1000億弗はある。住宅に関連して学校や病院が当然必要になるが、ことに学校の建設は遅れており、加洲では三部教育までやつておる処がある。住宅建設については誠に至れりつくせりの政策でこれを建てる人は頭金を20%位払うと後の80%は金融会社が5分の金利で30年償却の資金を貸してくれる。不利な条件にあつた在郷軍人の住宅は特別に心配してくれる。これに対しては頭金をとらない5室で2万ドルの家を年賦で心配するのでアパートに入るより自宅を作る方が有利である。年賦も半分位にしている。住宅建設はそれ自身大切だが、またこれによりジョブ仕事が与えられるので非常によいと政府は考えている。

30~40階のアパートを建てる時には別の金融機関がある。10%の頭金を払えばこれを抵当として保険会社が6分の利で金を貸す。アメリカは毎年270万人の人口増加と100万世帯が増えているが、国民所得の3%以上が貯蓄されておつた。処が去年はそれが7.2%に増した。景気回復の為に消費経済を寧ろ奨励している、それが住宅建設に出て刺激を与えている。なお国防費は年間400億弗を割っている状態で建設の方が国防出費の身がわりをとめているわけである。

2. 日本その他の国の概観

日本経済のデフレ化はまだ続くであろう。何といつても我國の経済の健康状態は身体に微熱があつて表にも出られない有様であり、人工的に強く療治をすれば短い期間ですむが、それには堪へられないので程度を軽く時間を長くかけて回復を計らなければならない。ただ金融面から見ればもうこれ以上しめることはできない。わが国の経済からみればビルは後まわしにして産業設備の改善に資金を使わなければいけない。イギリスでも資金統制は嚴重であつて銀行の貸金でも5万ポンド以上の場合には政府の投資審査委員会を通さなければならないことになつている。日本では資金が鉄や石炭等の基本産業の方面に流れずビルや享楽方面の施設に廻りがちである。しかしビルは経済的理由で建たなくなるであろう。享楽施設だけは別天地らしいがこれも自ら限界はある。ただ住宅関係の建設はどんどんとやらなければならない。今後の建設界の仕事はその方面に集るであろう。建設界の景気保持の要素は住宅である。

スエーデンやデンマークのごとく社会党が政権を取れ

ばその政策として住宅建設は盛んになってくる。ちょうど日本のビルの如くそれらの国では住宅のゆきすぎ現象が起つている。それは国民所得から来たものではなく貯蓄以上のことをやつているから赤字公債の発行となりインフレを伴う。デンマークの経済危機はちょうどそれであつて社会政策のゆきすぎのために外貨を失つてしまつた。そして現在は例えば輸入車には150%の税金をかけるなどして消費生活を押えている。

イギリスの財政は一時の激しい社会福利政策のために合なしとなつたが、住宅に力を入れたのは社会党というよりもむしろチャーチルの保守党である。三年前に年間30万戸を建てると発表したのが、今年はそれ以上になるであろう。一体にイギリスの経済は国内経済の尻が貿易による受取超過であればそれでよいので本年は1.5億ポンドの黒字となつている。

話しは変わるが、産業設備はアメリカで20年イギリスで40年にして全然一新するといわれている。アメリカでは国内は火の出るような競争をしており研究のために年間35億弗の金を使つている。その三分の二は民間の研究費である。「研究費は投資である」といわれている。売上げ全額の2%は研究費だと公表している。いかに研究費を使うにしても、そのために一つの企業が成立すれば問題にならない。デュボンはプラスチックの新企業によつて85,000人に新しい職業を与えたといつている。スケールはてんで比較にならないとしても経済のいき方というものは万古不滅の真理であつて、どこの国といえど

も同じである。

建設はデフレがひどく効いてくるに従つて失業者救済とか事業救済の方に力を入れてくるために真先に取り上げられるものである。建設産業は公共性が強いためにデフレの荷は軽い方である。

日本の建設資金が本年6100億円(註、本誌10月号松井君による編集後記参照)という数字についてただいま正確なことは申し上げられないが、もしそうだとすればこれは国民所得の10%強に当る。米国においても建設資金は国民所得の10%強となつている。(筆者甲南大学教授)

大島さんのエピソード

長い住友銀行時代を通じてただ一度も遅刻された事がなかつたという伝説がある。しかしこの伝説は本当の実話だ、ただ、一つの例外を除いては——それもニューヨーク支店に勤務の頃、大雪のために市中の交通機関が故障した結果起つたのであるが。この話を聞いたあるサラリーマン曰く「僕も一度も遅刻したことはない。欠勤するだけだ」と。これは同日の談とならない。また大島さんの健康法も独特であり意志さへ強固なれば誰にもまねのできるものだ「一日に必ず2マイル歩くこと、2マイル歩く人から医者には遠ざかる」という格言を確実に実行されている。そのために出迎の車は辞退し通された。驚くべき「意志」とそして「健康」の所有者である。

建設界も金の歌・銀の歌

12月2日NJBの「金の歌・銀の歌」(5日録音放送)で竹中工務店と大林組が競演したが結果つぎのとおり。

金の組 竹中工務店				銀の組 大林組			
			点				点
1	雨降る街角で	洞 豊	80	落葉しぐれ	堀内 登		83
2	オ・ソレミオ	近藤 弘	90	あふるる涙	高島 瑞夫		90
3	麗人草の歌	木村 誠造	78	ベサメウムーチョ	辻 節子		80
4	やりさび	旭野 清	90	三つの車	桑山 音吉		85
5	水色のワルツ	井島 久江	72	P O S T	楠見 昭三		100
6	たゆとう小船	岡 幸子	80	小雨の丘	大和恵津子		83
7	雨のブルース	岡 町子	75	ギター月夜	池田 義親		85
課題曲	うちの女房にや ひげがある	岡 幸子	80	ああそれなのに	楠見 昭三		90
		計	645				696

杭

説明書及び防潮
嵩上、盛土地帯
に於ける実績表
進呈

特 許

武智式鉄筋混泥土杭基礎工
日信三角型鉄筋混泥土杭基礎工
コンボジット、パイル(長尺繰杭)基礎工
測量・地質調査・地耐力測定施工

特 長 砂利充填による特殊施工法
支持力強大。工事迅速。工費低廉

株式会社 武 智 工 務 所

取締役社長 福 留 並 喜

大阪市西区西長堀北通四丁目一〇 細野ビル三六号
電話新町〇九九五〜九九八番

オフィスのなかより

中 橋 武 一

(前白 大阪中之島に偉容を誇る大阪ビルは渡辺節氏の設計大林組施工になる重厚で洗練されたオフィスビルであるが竹腰会長の御力添をもつて私はそのビルの主中橋武一氏をお訪ねした。関経連会長の経歴を持たれる中橋会長はどんなにこわい方かと恐る恐る罷り出たのであつたがイギリス風の好紳士に笑顔とともに迎えられてホッとした次第である。そしてオフィスの企画と運営に対してここに達観的な談話を建築界のために与えて戴いたことを感謝しながらなお私の至らないためにその再見ができるか否かを恐れている。 29.11.4 浦辺)

1. 不動産としてのビル

ビルの立地条件についてお尋ねであるが、たとえば我々の東京のビル(日比谷大阪ビル)の立地は見当がよかつたと思う。東京進出について種々その立地を考えたのであつたが、先ず丸之内に近いこと、官庁中心街に近いことが必要条件であつた。戦後のビル・ブームの際に我々は適当な敷地であつた立地条件の良いものを持合せておらなかつたため建築を見合せたが、しかし将来の発展のために米軍拘留所(大阪堂島川畔)の敷地に目をつけた。いつまでも米軍がおるはずもないし、またそのような拘束された土地は地主も離れ易からうと思つたからである。(註 この敷地は大江橋と渡辺橋の間にありここに誰が何を建てるかは大阪建築界の話題であつた)私は純事務所ビルは頻繁な交通路に直面しなくともそれから少し入つたところがかえつてよいと思う。東京の三菱街のような場所が騒々しくなくてよいのではないか。

つぎに不動産としてみた場合、地盤の沈下とか基礎の沈下などはその価値を失わせることになる。目に見えない所に力を入れることが大切である。あまりに商売本位な考え方だけではいけない。

ビルの Commercial Value (商業的価値)の問題は我々としては大切なことである。時代遅れの感じになつてくことは好ましくはない。といつて時代に先走つたようなもの、あるいは試験時代を脱しておらないようなものを取上げようとは思わない。ビルはべつに兵器ではないのだから、いままでは建設費が安くつくので鉄筋コンクリート造でやつてきたがこれは私の経験から少しは高くついても鉄骨造とした方がよいと考えている。なぜかと言えばビルの Commercial Value を永続させるために改装の必要も生れてくるが、その際鉄骨なれば改装がきくからである。また鉄骨なれば柱が小さくなるのでデッドスペースも少なくなる。今度計画しているビルは鉄骨造にしたい。

建設資金の問題については、戦前と戦後では様相が変つた。戦前には「協力金」というようなものは、もちろんなかつたのであるが戦後の貸ビルは協力金をも資金の一部にしている。この大阪ビルは旧館(大正14年)が坪350円、新館(昭和13年)が坪500円で建つたが当時の貸室料は坪8円乃至10円であつた。東京(昭和初年)では建設費が420円になり室料は12円ないし13円であつた。

(註 現在の戦後のビルのそれと建設費対室料比を比較されるならば納得される処があるであろう)

借家が戦後何故建たなくなつたかのお尋ねであるが、私は借家のことはよく知らない。ただ私の感じを言えば、大家と借家人との立場が対等になつて寧ろ借家人の権利が無暗と強くなつたという点もあるであろう。ビルでもその感がある。しかしビルは個人経営ではないからよいが、それでも協力金があれば建たないような現状であるから、まして個人経営の借家というものは仲々であろう。

2. 計画して居るオフィス・ビルについて

我々が村野藤吾氏に新ビルの設計を依頼したことは事実である。場所は前述の堂島川畔で敷地は既に確保した。私は「純オフィス・ビル」として High grade のものを希望した。クライアントとして村野さんに設計上の注文はべつにつけておらない。私は村野さんを全腹的に信頼しているから。(註、箕面百楽荘の中橋邸も村野先生の設計であり個人的に親しい御間柄であるが、ビルの設計はそれとはべつの観点から決められた由)。プランもほぼ決り一応の案は出ているのであるが時世に応じた新らし味のあるものができると思っている。資金関係も具体化したので昨年着工すればできたのであるが見合せた。それは経済界の資金統制上の線に同調して遠慮したためである。(筆者 大阪建物KK会長)

中橋さんのエピソード

中橋さんにはエピソードがないという財界の通説である。それはいかにもその御人柄を表現する。ただ一つ——それは野球である。野球もプロでは南海一辺倒で大阪スタジアムの役員でもある。「南海は金で選手の引き抜きをしない。みんな育て上げた選手だ」というのがその支持理由である。

関西財界人交歓野球大会の発案者でその第一回大会の総監督としてジャンパー姿も堂々と活躍された。第二回の総監督は杉道助氏(梶大助氏のモデルと言われている)であつた。

デパートと私の建築観

北沢敬二郎

最近東京駅の八重州口に進出してはなやかな注視を浴びている大丸百貨店は、この他にも全国にわたって数多くの立派な店舗を擁し一大百貨店網を形成し業界に躍進を続けていることは、みなさまご存じの通りである。この大百貨店網をひきいて立ち颯爽たる旗振りをやっておられるのが、北沢敬二郎社長である。北沢さんは元はいわゆる住友マンで、倉庫・電線・生命等の各社を経て住友本社常務理事となられ、昭和19年住友土地工務株式会社が創られるや、初代社長となられた。昭和22年、前大丸社長里見氏の懇請により同社に入社され主宰されるようになったのである。これまたご存知の向きには蛇足であろうが、つけくわえさせて置いていただく。この北沢さんに百貨店建設を中心として建築一般についての考えを伺い、また建築界に対する御批判、御駐文を何うことを計画されたのは浦辺編集委員長であつた。ところがたまたま同氏のやむをえざる都合により筆者が代役をうけたまわることになった。さて建築界に対する御駐文をうけたまわるという段階になると、建築界を二つに分ければ設計界と施行界になるわけだから、設計界施行界の両方に対して御駐文が出る道理であろう。筆者は設計界を、代表するわけではないが、設計界に身を置く一員としてお話をうけたまわり、場合によれば私どもの考えも喋らせていただくこともできようが、施行界に対するお話を筆者ごときがうけたまわるだけではもつたいたなく、まして、施行界が叱られる場合もありとすればそれをお引き受けするのは、はなはだつまらなく、また施行界からの御意見もあらうと考え、鴻池組の社長鴻池藤一氏に御出馬をお願いし、御快諾を得、一緒に北沢さんにお目にかかつた。

(岡橋記)

「百貨店建築はどうあるべきか、また一般建築はどうあるべきものとお考えになるか。また建築界に対する御駐文というようなものがあればお伺いしたいと思います」

これは建築需要者としての意見だが、建築は土木とは根本的に異なるということだ。すなわち建築では美的観念が重要であるということ。建築は平面的ならびに立体的にすべての美を綜合した、綜合芸術でなければならない。古来、建築技能の粋をあつめた美しい建物が数多くあるが、近頃になるとこの美的要素を度外視して実用的な面のみが強く押しだされている傾向がみられる。すなわち外構えや照明、硝子の窓等「新しさ」にばかり走っている。たとえば、最近の建物としてニューヨークのレパーハウスとか東京のリーダーズダイジェストとかいうものがあるが、全体的には良くできているとしても、内部にはいと光線が多すぎるように感じる。これに反してイギリス、フランス等では壁が厚く、内部は薄暗い。イギリスにおいては昔はウインドウ・タックス(窓税)というものがあつて窓の数に比例して税金を取つたこともあつたのだ。最近ではアメリカの影響かと思うが、「光線」と「柱」だけでこと足れりとして、綜合的の建築美というものがない。近頃はアーキテクトではなくコンストラクターとでもいう人が建物を造っているのではないかという感じがする。実用以外に美というものがないとまらない。もつとも審美感は時代によつて違ふから、

その時代の美がなければならぬわけである。

「大阪の建築に就いて」

大阪で代表的な建物を挙げるとすれば、大阪府立図書館——これは野口孫市氏の設計であるが——は良い建物だ。それから日本銀行——これは辰野金吾事務所の設計であるが、頭が重く地面にめり込んだ感じがする。もう少し新しいものとしては、住友ビルがある。これは当初の設計は8階建であつたが、たまたま工事中関東大地震(1923)があつたため、6階建にとどめたのである。初めの設計通りのほうがエレベーションがよかつたと思う。

「都市美と建築美に就いて」

バリの街が美しいのは建物の高さ等が規制されているからだ。凱旋門のあるエトワール広場からシャンゼリゼー通り、さらにコンコルドの広場にかけての美しさなど全く都市が計画的に造られているからだ。御堂筋など戦後いろいろな建物が大分建つたが、都市美の上から建物を規制すべきであつたと思う。中之島公園は私が昔外国から帰つてきたとき——35年くらいになるか——できたのだが、YMCAのジョージ・グリーンソン氏、F. H. ブラウン氏の設計だつたと思う。現代的の公園になつていて美しい。附近の河岸に、あるべからざるところに建物が少しあるのは惜しい。

「百貨店建築に就いて」

百貨店の建物は、もつとも古いのは、パリのボンマルシェカルーヴルだろう。客のために「美」を重点としている。日本ではアメリカの真似をしている。すなわちシカゴのマーシャルフィールド、あるいはフィラデルフィアのワナメーカーなどを真似ている。内部に「吹き抜き」が高く上にのびている。三越本店や松屋などはこの例だ。この吹き抜きは新しい百貨店には良くない。こんにちにはエアコンデিশヨニングが必要で、冬は暖房、夏は冷房が施されているが、吹き抜きがあると致命的に困難になる。古いシカゴのマーシャルフィールドはこの吹き抜きに困っている。14階まで突き抜けているから、これに冷房しようとする、上が涼しくなるには下は凍らねばなるまい。だから新しい百貨店には吹き抜けは無くなつた。戦後アメリカ、イギリス、フランス等の70程の百貨店を見てきたが、アメリカのヒューストンの百貨店では吹き抜けが無いのはもちろん窓も無い——ノーウィンドウである。各階天井高11呎、第1階は13呎でいずれも大変低い。これはエアコンデিশヨニングに有利だ。建築費、建築維持費を安くすることになる。ただ、圧迫感を生じない程度に天井も低くすべきだ。ノーウィンドウの場合は商品の配置や電燈照明が自由にできて良いが、日本の現在のような電力事情では、停電のときに困るので採用しかねる方法だ。

「自動車の利用の顧客について」

百貨店との関係は大きい。その極端な例がアメリカだが、戦後に特殊な発達をした。御存知の、5000台程度の駐車場を有つ郊外ショッピングセンターだ。ロサンゼルスでは低い建物で屋上に駐車場を有つているものもあつたが、いずれにしても駐車場があまり広くなつては歩行距離が大きくなつて不都合になる、地面に一平面に並べる方法では10,000台位が限度ではないかと思う。日本の現状では、車も少いのだし、雨に濡れずに乗降できる位のことはやりたい。大事な1階の売場面積をあまり犠牲にはできないが。

「百貨店建物においては絶えず改装という問題が起つてくると思うが、建物のモダンゼーションの場合と工場における機械の陳腐化の場合とでは税金上では不公平があるように思われるが、その点について」

百貨店としては大きな問題である。外国でも改装を焦

つている例もある。しかし現在の日本全体のことを考えれば、税法を変えてまでやるべきことではないと思う。機械は新式のものを取り換えれば生産が上るわけだから。

「東京進出には非常に良い場所を撰ばれたと思ふが、あの八重州口の有つ意義について」

百貨店は何よりも大勢のお客にきてもらはねばならぬ、したがつて交通の便ということが大きく左右する。郊外電車のターミナルにあるということは重大な意味を有つ。また都心にあるということも重要だ。八重州口は大体において両方の条件を具へている。大体においてという意味は、ぶらぶら歩いて買物にはいるという都心百貨店の条件からみれば、少し不十分だ。もう少し東寄りブリッヂストンの筋向い津村順天堂のあたりまででられたとしたならば満点であつたろう。八重州口はまた地方からのいわゆる「お上りさん」というような出入りもあるが、これはショッピングのためにくる人と比較すれば数字的には——金額的には——それ程大きいものではあるまい。八重州口には日に80万の人が往来するというが、百貨店ができてからさらに5~6万増加したそうだが。

「百貨店建築の夢について」

新しい店舗をつくるとすれば、まづロケーション、サイズ。そんなことが定つてからでないと具体的にいうのはむづかしい。八重州口につくつた店も自分の理想通りにはやれなかつた。いろいろな制約があつて、たとえば百貨店として一番大事な1階が少ししか使えなかつたことなど。

「百貨店で大衆の夢簡易組立住宅を売ることについて」

戦後混乱のときからこんにちになつて「食」と「衣」の問題は大体解決されてきたと思うが、いまだ「住」の問題が解決されていない。これは実に大きな問題だ。あらゆる社会悪、社会不安というものがこの「住」に根ざしていると思う。計画出産などといつてみたところが狭い室に大勢寝ているような有様ではできない話である。これは大きな手を打つて解決されなければならない問題である。イギリスのように上手に解決しなければならぬ。しかし百貨店みずからがこんなことにまで手をのばすべきものとは思わない。(筆者 大丸百貨店社長)

ホテル建築のあり方 — その運営者としての私見 —

郡 司 茂

(御紹介——郡司氏は日本の代表的ホテルである大阪中之島の「新大阪ホテル」の専務取締役支配人として20年来その運営に当っておられる練達の方で、御見聞は広く内外に亘りまた御専門の間に日本の大小のホテルにも参観された体験の所有者であります。私共としてその權威ある主題に対し御談話を戴きましたことを感謝致しております。標題ならびに以下本文はそれを基本として私の責任において纏めたものであります。 浦辺記)

1. これからのホテル(特に市中の)に対して私がもつとも関心を持つ点は、その防音装置がいかに完備されておるかと言う問題である。たとえばロンドンの繁華街ピカデリー・サーカスにあるパークレイは「静けさのホテル」ということを唯一の武器としている。窓の外は雑踏の巷であるが室内は針一本落ちて分る位の静けさを保持している。帝国ホテルは近頃数百万円かけて防音装置をおこなったが、その成否がこのホテルの繁栄の分れ目にもなるであろう。

2. 防音は内外両面から考える必要がある。ホテルは配管配線の関係からベッドが隣室のそれと近接し勝であるから間仕切りは充分防音(遮音)構造になつておらなければならぬ。戦後の事務所を改造してできたものは全部といってよいくらい、この間仕切りが悪い。それは談話の秘密や安眠を保証しないから失敗であろう。

3. 客室からボーイステーションに呼鈴で連絡するやり方は防音と言う見地から既に古い方式になつている。フランスでは Silent System を採用している。それは聴覚ではなくて視覚によつたものであり、客の要求が赤、青、白の輝線で示されるようになっていく。このホテルでも既に一部採用されている。

4. 防音から言つて廊下も単にゴムタイル貼程度ではいけない。カーベットを敷く必要がある。その壁も吸音性の高い材料(たとえばコルク)を貼ることが大切だ。窓は単に二重とすることでは解決しない。中間の空気層の厚さは8吋がよいと書いてあるパンフレットを見た。また窓を開く場合には気密性の高いカンノビラキがよいと書いてあつた。(尙この談話中に新大阪ホテルのロビーに今1台テレビを設置する件で係の人が支配人にお伺いしてきたが2台では喧ましいとの御意見であつた)

5. つぎにホテル建築として重要なことは照明の問題である。それに対しては深く考えられておらない様だ。照明は明るければよいというものではない。調和した光の質と量とが大切である。質の問題でいえば目下流行している蛍光灯なども感覚的に好ましいものではない。アメリカでもそれを使っているのは、第三流ホテルかドラッグストア位のものと聞いていたし、ロンドンでも第一流ホテルでは決して蛍光灯を使用しない。その気

持は私にはよく分る。光の量の点であるがボタンを押せば光量が $\frac{1}{2}$ となり更に押せば $\frac{1}{4}$ となる様な調整方式がバスに至るまで出来て安らかな光を楽しむことや、うす暗い感じが得られることが好ましい。またたとえば住友の小倉さんのように絶対に暗黒でないと眠れない方もある。カーテンを洩れる僅かな光りも安眠を防げるのでこの点の工夫が必要だ。

6. 帝国ホテルに対する私見であるがその建築は飽きないということが一番よい点である。そこには「無用の用」がある。大震災直後私がこのホテルを見て感嘆したことは damage が一ヶ所に集中されていることであつた。また帝国ホテルには四通八達の通路があるがサービス専用通路がないので悪い人間の出入りに苦心したことがある。しかしライトさんはホテルの実務に通じられておつたのが、ベーカーリイとアイスクリーム部門などの関係は専門家にもうなずける。室の扉が常にベッドをカバーする点ワードローブがすぐにある点などもよい工夫である。ただ大谷石を使つた建築は keep-up にはこまる。室内にあまりラフな仕上をやるのは怪我的恐れもあるし、あるフランス人は裸の壁は牢獄以外にはないといつておつた。

新大阪ホテルは20年来ほとんど改造しておらないし、またその必要もない。それで帝国ホテルの大丸支配人は羨ましがつていた。先ず非常に Keep-up のやりよいホテルである。ただ冷蔵庫のスペースを置く余地のない点だけはこまる。ホテルは年中無休のものであるからだ。

7. ホテルの発展性についてお答えすれば日本ではその可能性が大であると私は思っている。日本の生活様式が益々 activity を求めているので、リクリエーション本位の日本旅館よりも優れて居るからである。また冷暖房と言う要素が入つてくればよいホテルが有利であるし真の安全も保証される。

これは私の夢であるが市中ホテルならば1000室で地下階にトルコ風呂のあるホテルといつたところであろう。各室にバスを設ける(朝と夕の30分間のために)のは日本の経済状態や生活水準から見てギャップがあると思う。運営の点からいえば掛け付けのない方法、前金を敷いて鍵を渡す方式がよいと思う。そのかわりに凡て原価に近い値段で物を提供することとして客も正しく経営も正しくおこなうことである。清潔で静かな小室とトルコ風呂を持つホテルが私の夢である。その建築様式についてはあのウッペラなモダン風のものを私は好まない。やはり classic なものを私は好んでいる。

(筆者 新大阪ホテル専務取締役支配人)

門外漢建築を語る

大原 総一郎

(前白——本日は社長と社員という立場からではなく高名な一事業家に建築協会の編集委員長が御話を承るという立場になりました。ここに改めて御高話拝聴致しましたが、大原社長の表現は独特の風格があつてその再現は甚だ困難であります²。しかし内容に至つては日頃からよく承つていふことであります故、正確を期し得られるかと思ひます。御多忙中時間割愛戴しましたことを感謝申し上げます。 29. 11. 6 浦辺)

1. 近代建築以前と以後

近代建築が過去の様式(クラシックよりルネッサンスまで)の超克の上に立つて発展し機能と合理化を探索して一つの国際的な型を創造したことは我々も認めている。しかしまた最近民族主義的な伝統の問題や風土性の問題が取り上げられていることも聞いている。現代の建築がもちろん今迄の追求の方向を一変して再び過去の姿に帰るということは考えられないし、またその客観的条件も存在しておらないと思う。私が欧州で接した過去の様式建築を見て感じたことは同じ時代に生れたゴシックにしても新古典主義の建築やゴシックの流をくむと見られる浪漫主義の建築にしても欧州の南と北とではそれぞれ違つた表現と雰囲気を持つており、単に時代精神だけでは解釈し得なかつたことである。民族性や風土条件は無視し得ない要素だと感じた。こんにちの建築の問題にしても以前と異なつた時代精神と社会的条件の上に立つて「建築の母胎」の問題が取り上げられているのだと私は解釈している。

2. 建築と絵画音楽

門外漢から見れば建築絵画音楽の三つの間には共通の流れと形而上の共通の立場があるようだ。ただ建築だけには実用性の条件とその実用性を要求する「クライアント」の問題が介在する。絵画や音楽の場合その作者は自己の感動表現力技術によつて自発的に独立した作品を生むことができるが、現代建築の場合には建築家の意欲だけで作品は生れない。そこに一つの客観的条件が前提として備わつておらなければならない。またかくして生れた建築は客観的な価値を持った「構造」でなければならない。建築が純粋美術や音楽と區別して考えられるのは上記の点であろう。一つ的前提条件が与えられた以上建築家は他の作者と同様の才能と努力を要求されるわけである。

3. 建築の価値

私の会社のある第一生命ビル(大阪梅田)は立地条件もよく近代建築として使用上からもまた目に見える広告的価値の上からも賃ビルとして運営の成立する条件を具備していると思うが、かかる建築は数世代に亘つてその

ままの姿では存在しえない。朝日ビルのアラスカ食堂の窓枠も20年余最近取り換えられている。いくらメンテナンスをよくしても材料には寿命がある。また時代の好尚も変つてくるであろうし、機能的な価値や見方は変つてくるであろうと思う。従つてこれを前提とした構造を考へて置かなければならない。「流行を超越した建物」ももちろんあるし、古土と共に一種の価値を増す建築も実在しているが、現代建築ではそれは求め難い条件であろう。私見ではただよく消化されておらない借物の様式は早くつぎの新様式にその地位を譲るであろうということである。

私どもの化学工業の工場建築ではその寿命は甚だ短い。内部の機械設備は常に進歩しているので建設当初は合理的であつた建築が不合理となるのみか、生産設備をも制約してくることになる。あるいは遠隔自動操作の進歩によつては今迄の工場建築が不要となる事も起り得るであろう。これらを考へては工場建築を一つの不動産価値としてみることに疑問がある。ただその建設には巨費を要するので「消耗品」としてみることも経済的に許されない。過去の経験によつて実証すれば構造のしつかりした建築は改造がきくために不動産価値が「新生」するが間に合せのバラック建はそのような場合に価値が消失してしまうことである。工場建築で真の意味の不動産といへばその基礎工事だけであろう。基礎工事の悪いものは工場建築としては価値がない。

4. 建築の立体化

地価は他の諸物価に比較して最も出遅れているといわれていたが現状ではもつとも上昇の激しいものとなつた。日本の如く国土の枠も限定され人口は益々増加しているところでは土地は最も貴重となつた。今迄のように充分なる土地を占有しその一部にその土地の自然条件と調和した建築を行うという日本住宅式のやり方は困難となり、それぞれを強行する事がよいとも思われなくなつた。建築は必然的に上に伸びていかなければならない。古代ローマに於ても庶民住宅は4階建が一般であつた。我々の富山工場(ビニロン原料のボパール製造工場)は狭い敷地に立体化方式を採用した為に問題が解決した。土地を貴重なものとしてその価値を単に経済的利用の上からだけでなく人間生活に必需のものとして宗教的に考へて活用するような建築様式が日本では生れてこなくてはならないと思う。ピロチ式とかいうやり方も見方によつては、その試験の一つかも知れない。人間は建築なくしては生活出来ないが、同時に土地なくしてはあらゆる生物が生存し得ないのだから。(註、大原氏は樹木、鳥の愛好者としても有名である)

私は建築の専門家ではないので専門的のことはその道の人に御願ひすることとして建築に興味と関心を持つ社会人として求められるままに私見の一端を申し上げた次第である。(筆者 倉敷レイヨンKK社長)

鉄筋住宅余話

元吉 勇太郎

ようやく下火になったといえ、ここ数年来のビルブームの華々しさを思うにつけても戦後いち早くバラック公営住宅の不燃化にとりかかった先達の功績を讃えたい。昭和23年度にはじめて大阪府に鉄筋4階建のアパート315戸の割当があり大阪府市折半して仲よく建設に着手した。府は箕ヶ崎町と夕陽丘に大阪市もおなじく天王寺区小宮町にいずれも市内高台絶好の住宅地をえらんで、府の方は竹中工務店、市の方は清水組といずれも当代一流の業者が期せずして大阪公営住宅最初の鉄筋アパートを手がけたこともよい記念ともなろう。当時まだビルブームのごときは思いもよらず鉄筋コンクリートの建物は寥々たるもので敗戦後のきびしい住宅難に当面して新設された府の住宅課のごときは戦中戦後の鉄筋コンクリートの経験のない者が大部分という状態であつた。したがって経験者に新しい学校出のほやはやを配して急速養成をはじめた。一方施工者側でも工事なきままに敗戦後の虚脱状態のままに散らばつた鉄筋工ヤーイといつた有様で昨日府の現場で鉄筋を組んだと思えば今日は市の現場でといつた風景も見られた。こうしたようらん期を経て当初全国一律の建設標準型アパートが汽車の窓からあちこちに見られる頃から限られた予算と規模ながらも配置の妙を求め、集団アパートの今迄見られなかつた新しいふんいきがまづぼつ作られていつた。昭和23年にスタートした大阪の鉄筋アパートはその後逐年着実なペースをもつて増加の一路を進み、今日では府市共に公営住宅の年間建設戸数の半分迄が不燃化する所迄いつた。3階4階のアパートは公営住宅のみでも大阪で6,000戸を数え、これにつづいてニューフェイスとして昭和25年に始つたブロック建築もとやかくの論議を重ねつつ次第に普及しつつある。当初は各種各様のブロックの氾濫でしかも云合せた様に小資本と設備で自説を固持して譲らずそれではよいからやつて見ようと少しまとまつた注文をすれば生産が間に合わず他のメーカーのものを使おうと思つても寸法が合はず型が違うといつた調子であつた。そんな具合で今迄市販のブロックの内でこれと思うものを何種類かを使つて見た上、今年は行き方を変えて高炉セメントを使つて現場で2階建鉄筋コンクリートを500戸ばかり仕上げた。結局2階建不燃アパートも昭和25年に始つて大阪の公営住宅のみで今年で2,100戸ばかりできることとなる。

公営住宅の不燃化がこうして着々進みつつあるのと併行して、昭和25年に住宅金融公庫が新発足してからは民

間住宅の不燃化に拍車をかけることとなつた。大阪府市に夫々財団法人の住宅協会が誕生して不燃アパートの建設に当り既に3,000戸を超ゆる成績を挙げている。同時に会社工場の社宅が住宅金融公庫の融資を受けて各所に建設され鉄筋アパートにも次第に変化とうるおいを持つ様になつてきた。こうして鉄筋アパートが都市を歩けば珍しくない程にふえて来た今日では、単に不燃化丈ではなしに環境の整備と云う事が大切な事が痛感される。団地の緑化が何よりなので乏しい建築費をさいて造園に力をそそいでいる。大阪府で昨年度から着手している堺金岡の団地は鉄筋アパートの集団としては我国有数の大きさとなる予定でその基準プランの組合せで昨年度は4棟本年度は12棟、来年度も引續いて42棟1,400戸程できる予定である。したがって堺市の協力を得て小学校、幼稚園、浴場、公民館、店舗等の建設も予定され、かつそれらは何れも鉄筋アパートにふさわしい不燃構造のものとなつたい。これだけの大団地であるため中央縦横の主軸となる街路には東洋的な銀杏を植えたいと思つている。借すに十年の歳月をもつてすれば春の青葉に、秋の黄葉に風格ある都市美を夢に描いている。このアパートに住まれる人々よアパートの庭を我庭、われらの庭として愛し育てて下さい、そしてわずかの空間を上手に利用して草花の可愛さをめでして下さいと念願したい。折角のベランダが、がらくたの置場となつたり、時はバラックの増設となつたりする例が日本の何処かにあるのを見て住む人住ませる人の心なきに幻滅を感じる。

戦後日本に生れた鉄筋アパートは今年でようやく7才で早くも11階の高層アパートに迄成長した。地上権の問題で一時どうかと危まれたが、関係者の並々ならぬ熱意で円満妥結していま実施設計にかかつている。敷地前面は新しい50米道路に面し、南は市大家政学部、西は土佐稲荷、北は一ブロック隔てて長堀川、市電白髪橋の停留所へ5分、先づ大阪市中を駆けずり廻つて帯に短したすきに長しの中から金的候補だと思ふ。地価の高い大阪市中の焼跡が各種の近代都市施設の利用の点からも放置すべきでないといふば道は一つ高層化へ向う。1アパートの敷地を忘れられた空中に求めて2階迄しか使わぬ人は3階以上を都市住宅にと考え直して戴きたい。それが大阪の本当の復興であり、ビルブームに揮つた建築家の腕を結集して住宅の復興ができればはじめて新しい日本の黎明がきよう。(筆者・大阪府住宅課長)

次号紫煙室は竹内成夫氏の建築・音楽をけいさいます。係

大和常務理事退職慰勞第三回申込者芳名

(前号統領收分)

野 中 実 殿	2,000.-	鉄 道 建 設 興 業 殿	
谷 口 尚 武 殿	1,000.-	西 松 建 設 支 店 殿	
東 洋 リ ノ リ ュ ー ム 殿	30,000.-	藤 田 組 支 店 殿	
東 洋 ヲ ヲ 瓦 殿	20,000.-	三 井 建 設 支 店 殿	
大 和 工 業 殿	3,000.-	神 崎 組 支 店 殿	
小 田 島 兵 吉 殿	1,000.-	勝 呂 組 支 店 殿	
設 楽 貞 三 殿	1,000.-	熊 谷 組 支 店 殿	
政 岡 基 次 殿	2,000.-	佐 藤 工 業 支 店 殿	
日本建築協会東海支部役員一同殿	15,000.-	長 建 設 支 店 殿	
井 上 鴻 太 郎 殿	1,000.-	中 島 組 殿	
水 野 建 設 殿	2,000.-	森 本 組 殿	
水 野 長 三 郎 殿	1,000.-	高 阪 信 次 郎 殿	1,000.-
岩 下 久 哉 殿	500.-	長 谷 川 信 太 郎 殿	500.-
加 田 安 彦 殿	500.-	浅 海 電 気 産 業 殿	20,000.-
水 井 俊 久 殿	500.-	竹 腰 健 造 殿	50,000.-
浪 速 建 材 工 業 殿	5,000.-	久 保 商 店 殿	10,000.-
大阪生コンクリート殿	5,000.-	三 機 工 業 福 岡 支 店 殿	2,000.-
藤 勝 治 殿	1,000.-	石 素 産 業 福 岡 支 店 殿	500.-
久 米 保 衛 殿	1,000.-	西 松 建 設 九 州 支 店 殿	2,000.-
日本建築設計監理協会殿	5,000.-	河 合 貞 一 郎 殿	1,000.-
上 林 博 雄 殿	500.-	西 沢 藤 生 殿	1,000.-
竹 内 成 夫 殿	1,000.-	新 居 恒 人 殿	500.-
関西大倉学園建交会殿	3,000.-	三 木 栄 逸 殿	500.-
五 日 会 殿	400,000.-	谷 川 政 夫 殿	1,000.-
大 林 組 殿		井 上 福 藏 殿	2,000.-
竹 中 工 務 店 殿		井 上 組 殿	5,000.-
鴻 池 組 殿		第 一 工 業 大 阪 支 店 殿	12,300.-
銭 高 組 殿		三 和 電 気 土 木 工 事 殿	10,000.-
松 村 組 殿		田 島 応 用 化 工 殿	30,000.-
浅 沼 組 殿		井 上 民 治 殿	5,000.-
鹿 島 建 設 支 店 殿		日 新 工 業 殿	10,000.-
清 水 建 設 支 店 殿		松 井 清 之 助 殿	1,000.-
大 成 建 設 支 店 殿		中 川 初 子 殿	500.-
戸 田 組 支 店 殿		石 井 一 信 殿	2,000.-
間 組 支 店 殿		金 子 豊 殿	1,000.-
藤 木 工 務 店 殿		早 良 俊 夫 殿	1,000.-
安 藤 組 支 店 殿		山 内 嘉 兵 衛 殿	1,000.-
新 工 務 所 殿		明 和 工 務 店 殿	2,000.-
奥 村 組 殿		野 田 清 三 殿	1,000.-
島 藤 建 設 支 店 殿		橘 嘉 一 殿	1,000.-
郷 組 支 店 殿		吉 田 信 武 殿	2,000.-
大 日 本 土 木 支 店 殿		本 田 林 八 殿	500.-
大 鉄 工 業 殿		菅 田 豊 重 殿	1,000.-

ケン ト ク 殿
 片山 信 一 殿
 岡本 茂 樹 殿
 日本スタツコKK 殿
 大倉 三 郎 殿
 小林 清 殿
 元吉 勇 太 郎 殿
 須賀 工 業 殿
 佐多 明 見 殿
 藤木 正 一 殿
 吉田 安 三 郎 殿
 伊東 五 郎 殿
 小早 川 美 武 殿
 ミラノ 工 務 店 殿
 小崎 修 殿
 小西 岬 殿
 棚橋 諒 殿
 旭硝子大阪支店 殿
 石川建築事務所 殿
 毛利 泰 三 殿
 戸田組福岡支店 殿
 三井建設福岡支店 殿
 清水建設九州支店 殿
 松尾組福岡支店 殿
 松本 儀 八 殿
 佐村 木 商 店 殿
 竹内 孝 殿
 清水工業所 殿
 山本建材社 殿
 関西建材会建物清掃部有志
 三宅 化 学 殿
 マルシン 商 会 殿
 山崎 産 業 殿
 山井 外 商 店 殿
 東日本 化 学 殿
 水島 商 店 殿
 三村 馨 殿
 本多 正 道 殿
 秋田 喜 代 治 殿
 南 長 吉 殿
 森 口 清 殿
 景山 正 明 殿
 藤阪 捨 次 郎 殿
 山本 義 樹 殿
 日本 管 工 業 殿
 阪大 構 築 殿
 鷺 尾 健 三 殿
 奥島 正 一 殿
 足立 孝 殿
 馬場 善 殿

20,000.—
 1,000.—
 500.—
 2,000.—
 2,000.—
 1,000.—
 1,000.—
 35,000.—
 500.—
 5,000.—
 1,000.—
 3,000.—
 5,000.—
 5,000.—
 2,000.—
 1,000.—
 1,000.—
 15,000.—
 3,000.—
 1,000.—
 2,000.—
 500.—
 2,000.—
 1,000.—
 2,000.—
 5,000.—
 1,000.—
 4,000.—
 10,000.—

竹中 鍊 一 殿
 小泉 昇 殿
 鷺尾 九 郎 殿
 大阪府建築士会 殿
 平田 タ イ ル 殿
 大阪硝子店 殿
 大島応用化工 殿
 浅井 貞 治 殿
 池田建設福岡支店 殿
 マルエス工業 殿
 大成建設九州支店 殿
 新興建材工業所 殿
 大 仏 組 殿
 久保田 種 吉 殿
 小津 利 一 殿
 あめりか や 殿
 前野 慶 太 郎 殿
 野沢石綿セメント工業 殿
 酒井 工 務 店 殿
 芦田 小 二 郎 殿
 桑田 正 一 殿
 山田 治 司 殿
 松浦 勇 太 郎 殿
 浅尾 熊 雄 殿
 中村組神戸営業所 殿
 井上 浄 夫 商 店 殿

以上計 878,300.—
 累計 1,388,000.—

(申込分)

黒田 茂 殿 1,000.—
 置塩 章 殿 5,000.—
 中西 六 郎 殿 3,000.—
 稗田 治 殿 1,000.—
 神野工業KK 殿 2,000.—
 吉崎源三郎 殿 2,000.—
 野中 駒 市 殿 2,000.—
 岩元工業KK 殿 2,000.—
 星 広 文 殿 1,500.—
 日本板硝子 殿 4,000.—
 高井 久 治 殿 500.—
 伊藤 進 殿 500.—
 田村 商 会 殿 2,000.—
 都市不燃化促進連合会 殿 3,000.—
 新晃 工 業 殿 8,000.—

(以上申込金額計 37,500.—)

11月訂正 正 誤
 松井貴太郎殿 松井豊太郎殿
 矢沢広吉殿 大沢広吉殿

本会活動報告 (会報) —10月分—

理事会

13日4時—5時 於朝日ビル

竹腰会長伊東副会長外9名、事務局2名出席 議案
(1)東海支部の状況報告について同支部を直ちに解消せずして一時連絡事務所を置いて会務を進めるよう措置を講ずることに決議 (2)会員入退会詮衡の件を審議の後各報告事項を担任理事から報告、なお地方に於ける、コンクリート及ブロック並に新材料紹介に関する講習会計画について報告が行われた。

主 記 会

13日3時—4時 於朝日ビル

中野、浅沼両理事出席理事会え提出の議案を審議した
編集委員会

26日3時—6時 於朝日ビル

浦辺委員長外5名事務局1名出席 11月号の経過並に「建築の眼」欄を本月号より設けることを報告ついで12月号を「クライアントからみた建築」特集号、新年号を「日本の建築的伝流」特集号とすること、又表紙についての担当委員、広告主との座談会などについて審議決定した。

住宅委員会

小委員会 (ローコスト) 8日4時—6時於朝日ビル
今西茂雄主査外3名出席、三木委員より提出の工費木造の一割増で出来る主体鉄筋コンクリート住宅を検討種々協議討論した。ローコスト委員会はこれを第1号として種々な面より研究を続行することを申合せた。

本委員会 27日4時—6時 於朝日ビル

中野委員長外4名、事務局1名出席 住い方小委員会白木幹事より小委員会の活動方針について報告、活動のために要する費用につき予算作成の件並に委員会活動の中間報告を雑誌に発表することを申合はせ、次に住宅委員会として住宅の見学をすることとし審議の上六氏の住宅を選定見学することに決した。

災害委員会

16日 2時半—4時半 於大阪建設会館

横尾委員長外5名、事務局2名出席、手島常務理事から曩に提出した老朽住宅対策に関する陳情書について経過報告をなす、なお、今後の検討課題として戸、障子等建具の挽みについて調査研究することとし本委員会は建具に関する実験の結果が判明した後に開くことに決定した。

工事請負契約改正委員会

第7回 6日 2時—5時 於朝日ビル

尾崎委員長外6名 事務局2名出席。約款第16条より第19条迄審議した。

第8回 14日 2時—5時 於朝日ビル

尾崎委員長外4名 事務局2名出席。約款第20条より第24条迄審議したが第24条は結論を得ず次に保留となった。

第9回 20日 2時—5時 於朝日ビル

尾崎委員長外6名 事務局2名出席。前回保留となつた第24条は審議の結果削除し第25条より第30条迄審議した。

第10回 26日 2時—5時 於朝日ビル

尾崎委員長外6名 事務局1名出席。第三読会に入る、第1条より第6条迄審議した。

見 学 会

古建築見学会 申込者多数のため二回に分けて行つた

第1回 10日 参加者 43名 於京都

第2回 20日 参加者 32名 同上

定刻十時迄に京都駅西口に集合徒歩で西本願寺に向い西本願寺からは貸切バスで、次の順序で見学した。
西本願寺(本堂御影堂書院飛雲閣)一角屋—二条城(二の丸御殿本丸御殿)—東寺(観智院金堂五重塔)
西本願寺、二条城二の丸御殿の宏壮豪華な建築と飛雲閣の簡素な建築との対照や飛雲閣の特殊な建築様式などは参加者の興味を引き、島原の角屋では各室毎に異つた趣向を凝らした珍しい意匠建具も二百年に近い長年月の蠟燭の煤に燻つて、往時を偲ぶに充分ではあつたが折角の横面など確と見判けができぬ迄になり見る者をして惜しませた。二条城本丸御殿は一般の参観が許されておらぬが特に京都市役所竹口富太郎氏の御斡旋で許可を得、一同屋内を隈なく案内されたが室数の多いこと迷路に踏み入つた感じであつた。東寺では観智院で宮本武蔵筆と称す壁画や珍しい仏像などについて又金堂では若い元氣な僧の建物及仏像に関する説明を興味深く聞いた。五重塔に向つた時は暮れるに早い秋空は既に夕闇迫つて塔上には昇れなかつたが塔下の心柱の大きさなどに一同驚嘆の声を發した。
両回とも折悪しく曇天で第2回では中途秋雨に見舞はれるなど絶好な見学日和とは云えなかつたし、引続いて次ぎ次ぎと気忙しいような見学であつたが西本願寺書院廊下で枯山水の庭を眺めての昼食、貸切バスの驚嬢の懇切な説明などに又心境転換一同熱心に見学して廻はつた、少し見学箇所が盛り沢山の氣味で時間に追はれて充分觀賞の余裕がなかつたのは遺憾であつたが一同多大の感銘を得て無事見学を終了5時京都駅前解散した。

岡三証券見学会

20日 2時—4時 参加者 85名

当日は会憎小雨降りしきる天候であつたが多数の参加者を見ることができた。見学到先立つて四階集會室で

見学者一同に対し岡三証券加藤社長の挨拶、同伊藤調査課長の「株の取引について」のお話し設計者双星社竹腰健造氏の「設計者の立場からの建物概要」大林組森元現場主任より施工者としての話しなど承わり三班に分れて社屋内部を見学した仲々美事な出事栄えで一同讃嘆の中に見学を終り再び集會室に集合手島常務理事より岡三証券、双星社竹腰建築事務所、大林組関係者に謝意を述べ参加者一同拍手を以て之に和し見学会を終った。

大阪北電話局見学会

23日 2時半—3時40分 参加者 17名

本工事は竣工を目近かに控えて大変お忙しい時期で洵に御迷惑であつたが松村組の御好意によつて見学会を行うことができた、二階広間で松村組河田工事主任の工事概要の説明を受け一同案内に従つて一巡見学をし更に再び二階広間に集合して鴻池組建築部長より協会及参加者一同を代表して謝辞を述べ会員拍手して之に和し散会した。

慈光院見学会

27日 11時—2時半 参加者 16名

藤木会勢委員長の非常な御斡旋によつて本見学会を催すことができたが、十時半大和小泉駅に集合徒歩約十五分で慈光院に到着先着の藤木委員長外の方々と共に国宝指定の書院で住職尾関恵京師から先づ院開基以来の経歴、昨年の修理の際発見された構造上の新事実並に書院の間柱その他構造上特異な箇所などについて説

明を受けなお俯瞰する大和平野や眼前の山容など風景についても御懇篤なお話を承はつた。ついで茶室（国宝）持仏堂茶室（国宝）と順次案内に従つて説明を受けたが茶道石州流の祖として名高い片桐石見守の創立であるだけに閑雅仲々捨て難いものがあつた。屋内一巡の後名勝指定の有名な庭園に下り立ち一同眼下の風景を賞した。昼食は院で調理された精進料理を談笑裡に攝り食後抹茶の接待を受けて二時庭前で記念撮影の上散会したが都塵を払つて閑寂な清境に秋の一日を楽しく過して一同洗心の思いに浸ることができ多忙な日常を忘れる洵に有意義な見学会であつた。

午 餐 会

28日 12—2時 於大阪建設会館

竹腰会長伊東副会長外23名出席 映画映写の関係で会場を選定したため、従来の午餐会とは趣の異つた箱弁の会食であつた。一同欲談裡に会食後竹腰会長の午餐会出席者が減少の気味があるので多数出席されるよう特に若い人の出席を勧誘されたい旨の挨拶があり映写に遷る 大林組研究室の菅田豊重氏から最近竣工の安治川サイロビ新設工事に使用の滑動型枠に関し同工事の概要、本工法に関する研究、施行方法、工事中の状況などについて解説を受けた後大林組製作に係る本邦最初の大規模な滑動型枠工事の施行状況の記録映画を説明付きで観賞した。映写終了後質疑応答があつて伊東副会長の謝辞を以て散会した。

＝ 会 告 ＝

老朽住宅対策に関する陳情書の提出に就いて

本会災害委員会立案に係る頭書陳情書は、曩に会告した通り、大阪府会議長並に大阪市会議長に、夫々提出陳情していたが、過般の大阪府会及び大阪市会で、各建設委員会に附託され、採択の上夫々理事者へ廻附された。

なお中央官庁並に関係方面への提出陳情については、今般、当協会、日本建築学会、日本建築士会連合会、日本住宅協会の四会連名を以て、右記の向え

夫々提出陳情することとなつた。

建 設 大 臣	日本自由党政務調査会長
建 設 次 官	日本民主党政務調査会長
建設省住宅局長	日本社会党政務調査会長
大 蔵 大 臣	日本社会党政務調査会長
衆議院建設委員長	
参議院建設委員長	

強く優雅な

リクノイド床

テック
ス
フローリング
電気式通風器



責任施工

田辺工業株式会社

大阪市西区江戸堀上通一丁目五 電話土佐堀④7437〜9

着色オイル拭きの時代は過ぎました!

床の仕上 **艶出ケントク**

日本建築協会・関西建材会・会員

株式会社 ケントク 大阪市北区豊崎・産経ビル前
電話 福島④1546, 3507番



編集後記

☆ 1955年という年は、「ウィリアム・テル」をかいた偉大なドイツの詩人シラーが死んで150年であり、「法の精神」の著者であるところのフランスのモンテスキューがなくなつて200年目である。また、「青い鳥」のチルチル・ミチルで全世界の少年少女からしたしまれているデンマークのアンデルセンが生れて150年目にあたる。さらにスペインのセルヴァンテスのかいた有名な「ドン・キホーテ」の本が発刊されて350年であり、アメリカの愛すべき民主詩人ホイットマンの詩集「草の葉」初版発行100年目にあたっている。

文化は偉大である。生命はみじかし、芸術はながし。そして文化を愛するということは、これらの偉大な文化人の遺産を守り、さらに1955年のあたらしい生活のなかに発展させることではなからうか。1955年は、ぜひこれらの文化遺産を記念する文化祭をおこないたいものである。これらの作家は、魂の技師なら、われわれ建築家は生活造型の技師だ。魂と生活造型の二つが統合されたところに本当の平和的文化が生れると思うが、どうだろう。われわれも、以上の魂の技師たちとまじわり、国境をこえて話しあい、お互に理解することを学んで、平和的な協力をつよめていくことができれば幸いだと思う。

「まじわり、話しあい、理解する」ことは、こんにち、世界の平和共存にとつても、またわれわれの製作態度にとつても、なにより必要なことではなからうか。

☆ 平和といえは、左翼のものだけやると思うのは大まちがい。あらゆる諸国民の心からの要望だ。もちろんクリスチャンも大いにやっている。去る11月の下旬にもキリスト教平和会議が東京でもよおされた。「再軍備と

次号予告

昭和30年1月号は「作品作風」として大沢商店、神戸水産会館、グリーンビル、船岡町役場をけいさいする予定です。本文は「日本の建築的伝統」特集として西山卯三氏、白木小三郎氏、外村吉之助氏、その他の方々に執筆ねがうことになっています。

憲法改正問題」「原水爆と基本的人権」「日本の独立と国際緊張緩和」「社会に対する教会の責任」の四つが討議された。そこで「平和とはイエスの教えであり、福音とは平和の力である」というような意見もかわされたと聞く。具体的には原水爆の禁止を訴え、中ソとの国交回復は緊張緩和をすすめるものであるなどの希望もだされているようだ。この具体的内容こそが平和への具体化であり、クリスチャンのみならず、国民の共通した願いではなからうか。

☆ 本号には、「クライアントからみた建築」特集を企画した。井口氏、大島氏、中橋氏、北沢氏、郡司氏、大原氏らの財界の一流人の建築観をご紹介できたのはひとえに竹腰会長ならびに浦辺編集長の御尽力のたまものである。設計側も施主の意のあるところをよく理解することも大切だと思う。その意味で本号は貴重なものとなつた。以上の各位に誌上を通じて厚く感謝するものである。なお、「作品作風」では、岸和田市庁舎、倉敷レイオン岡山アパート、興和ビル、松下商店の優良作品を紹介できたことを喜んでいる。これに対し、御協力いただいた日建、倉敷レイオン、清水建設、竹中工務店の各位にお礼を申し上げます。

一・二級建築士年次届

大阪府建築部建政課では表題の件についてその届出に協力してほしいといっている。建築士の資格ある人は年末までに届出をして下さるようお願いする

株 社 式 大 阪 市 北 区 木 幡 町 三 一 番 地 電 話 堀 川 一 〇 一 七 四 番 番	合 理 的 工 法 ・ 責 任 施 工	防 錆 完 全 ・ 中 空 防 音	耐 震 ・ 耐 火 ・ 軽 量 ・ 堅 牢	採 用 下 さ い ・	は 日 進 式 を 御	を ・ 軽 量 鉄 骨	に は 軽 量 鉄 骨	間 仕 切 ・ 天 井
株 社 式 大 阪 市 北 区 木 幡 町 三 一 番 地 電 話 堀 川 一 〇 一 七 四 番 番	合 理 的 工 法 ・ 責 任 施 工	防 錆 完 全 ・ 中 空 防 音	耐 震 ・ 耐 火 ・ 軽 量 ・ 堅 牢	採 用 下 さ い ・	は 日 進 式 を 御	を ・ 軽 量 鉄 骨	に は 軽 量 鉄 骨	間 仕 切 ・ 天 井

建 築 と 社 会

第35輯 第12号

売価1部100円(送料共)

昭和29年11月25日印刷・昭和29年11月2日発行

編集発行人 沖 田 誠 一

発 行 所 社団法人 日本建築協会

大阪市北区中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 北 浜 ②1334〜9 番

振 替 口 座 大 阪 39975 番

大 阪 市 北 区 堂 山 町 6 6

印 刷 者 網 野 榮

大 阪 市 北 区 堂 山 町 6 6

印 刷 所 株式会社研文社 電話豊崎②056番

●第三五集 第一二号 掲載広告一覧(掲載順)

ライト製作所
田中工業
久保商店
大阪城口研究所
大阪電気商会
桐田商会
齊久工業
齊藤省三商店
三機工業
須賀工業
西原衛生工業所
栄興商会
三晃商会
建材社
高砂熱学工業
浅海電気産業
近畿電気工事
中央電気工業
立花商会
福昌
三舟窯業
汎建製作所

谷山鉄工所
吉田芳雄商店
樫野石灰工業
福屋工業
日本チエンブロック製造所
田中風呂製作所
杉田組協栄
今西建築デザインルーム
明青工業写真
大正鉄筋コンクリート
大仏組
ナニワ瓦
大島応用化学工業
大阪コンベス建材社
川岸窯業
東邦商会
尾北商店
三高製作所
室谷商店
大和商店
三幸商会
鈴木シャタア商会

田村商会
織本建築設計計算事務所
東京鋼板工業
関西機械建材社
岩元工業
内外土木建材社
井上工材
大阪建材工業
玉置産業
藤森工業
大新物産
奥山化工業
日本金具製作所
浪速建材工業
油脂化工社
大阪窯業セメント
木下謹三商店
日本セメント防水剤製造所
荏原製作所
田島応用化工